



PRTRデータ

1. PRTR データの概要	18
(1) PRTR データの構成	18
(2) 基本となる集計表	19
(3) PRTR データでこんなことがわかる	20
(4) PRTR データの取扱い上の留意点	20
2. 令和 5（2023）年度 PRTR データの集計結果	22
(1) 令和 5（2023）年度 PRTR データの概要	22
(2) 令和 5（2023）年度 PRTR データをグラフや表で見る	23
① 全国の届出排出量・届出外排出量	23
② 都道府県別に見る	25
③ 排出先別割合	27
④ 大気・水・土壌に多く排出されている物質	28
⑤ 排出量の多い業種	29
⑥ 家庭から排出される物質	31
⑦ 身の周りの気になる物質	32
⑧ 移動量	34
3. 平成 22（2010）～令和 5（2023）年度 PRTR データの経年変化	38
(1) 届出事業所数の変遷	38
(2) 全国の排出量・移動量	38
(3) 継続物質の排出量・移動量	42
① 大気・水・土壌に多く排出されている物質	42
② 移動量	43
(4) 追加対象化学物質の届出排出量・移動量	45
4. ホームページ上で PRTR データを見る	46
環境省「PRTR 集計・公表システム」	46
環境省「PRTR データ地図上表示システム」	50
5. 個別事業所の PRTR データを入手する	54
(1) 個別事業所のデータと「PRTR けんさくん」の 利用について	54
(2) 環境省「PRTR データ地図上表示システム」の 利用について	56
(3) 開示請求	56

1 PRTRデータの概要

(1) PRTRデータの構成

PRTRデータは、排出源別に次の5種類のデータで構成されています。

 届出	対象となる業種に含まれ、従業員、取扱量が一定規模以上の事業所からの排出量・移動量
 届出対象外	対象となる業種に含まれるが、従業員、取扱量が一定規模未満のため、届け出ていない事業所からの排出量
 非対象業種	届出の対象となる業種に該当しない事業所からの排出量
 家庭	家庭からの排出量
 自動車など	自動車など移動体からの排出量

このうち  届出 は届出データ、 届出対象外  非対象業種  家庭  自動車などは国による推計データです。推計の対象となる主な製品などについては図に示してあります。 以外が国で推計した部分です。

●集計の対象となる排出量の構成

対象業種	非対象業種	家庭
 届出 届出対象 従業員21人以上 年間取扱量1トン以上※1	 届出対象外 届出対象外 年間取扱量1トン未満※1 製品の使用に伴う低含有率物質 下水処理施設※2 一般廃棄物処理施設※2 産業廃棄物焼却施設※2	 家庭 農薬 殺虫剤 接着剤 塗料 洗浄剤 化粧品 防虫剤・消臭剤 たばこの煙
	 倉庫業  農業、林業、ゴルフ場等  建物サービス業等  建設業等  飲食業等  漁業等 漁網防汚剤 汎用エンジン 水道 オゾン層破壊物質/ダイオキシン類	
	 自動車など 移動体 自動車、二輪車、特殊自動車(建設機械、農業機械、産業機械)、船舶(貨物船・旅客船等、漁船、プレジャーボート)、鉄道車両、航空機	

* 排出量の構成図は、あくまでイメージ図であり、面積比が排出量の割合を示すものではありません。

※1 特定第一種指定化学物質では年間取扱量は0.5トンになります。

※2 これらの施設は排出量の測定義務の物質が定められており、測定対象外の物質を国が推計しています。

(2) 基本となる集計表

PRTRデータは、事業者からの届出と国の推計に基づいた化学物質の排出量・移動量を表にして公表されます。結果をわかりやすく示すために、表やグラフなどに加工してありますが、基本となるのは「化学物質の名称」とその「排出量」「移動量」についての単純な数値データです。なお、事業者の届出データには大気、公共用水域など排出先も記入されています。

令和5(2023)年度の届出データを例に見てみましょう。下表は、対象化学物質別に、いくつかの事業所から届出があったか、それぞれ大気、公共用水域(河川や海など)、事業所敷地内の土壌のどこにどれだけ排出されたか、事業所敷地内にどれだけ埋立処分されたか、廃棄物として事業所の外へ運び出された量はどれくらいか、といった基礎的な情報を集計したものです。

このような数値データをもとにして、全国的に排出量の多い物質は何か、業種別や地域別によどのような特徴があるか、といったさまざまな視点で整理、集計することができます。

使用データ

この物質について何件の届出があったか

廃棄物として、また下水道に年間何kg移動されたか

管理番号	対象物質 物質名	報告事業所数(件)			排出件数(件)				移動件数(件)			排出量 (kg/年; ダイオキシン類はmg-TEQ/年)					移動量 (kg/年; ダイオキシン類はmg-TEQ/年)			排出量・ 移動量 合計 (kg/年; ダイオキシン類は mg-TEQ/年)	
		排出	移動	全体 ^{※3}	大気	公共用水域	土壌	埋立	合計	廃棄物	下水道	合計	大気	公共用水域	土壌	埋立	合計	廃棄物	下水道		合計
1	亜鉛の水溶性化合物	2,526	422	3,769	86	2,482	1	3	2,572	370	121	491	9,928	594,938	0	3,524	608,390	2,818,501	14,364	2,832,865	3,441,256
2	アクリルアミド	24	36	85	23	5	0	0	28	33	4	37	343	26	0	0	369	6,360	16	6,375	6,744
3	アクリル酸エチル	89	68	126	87	8	0	0	95	67	6	73	9,408	795	0	0	10,203	56,183	127	56,310	66,513
4	アクリル酸及びその水溶性塩	109	105	215	105	9	0	0	114	102	13	115	22,698	96	0	0	22,794	448,081	2,650	450,731	473,525
5	アクリル酸2-(ジメチルアミノ)エチル	5	1	12	5	0	0	0	5	1	0	1	8	0	0	0	8	44	0	44	52
7	アクリル酸ブチル	149	122	221	146	9	0	0	155	121	12	133	41,231	691	0	0	41,923	124,645	200	124,845	166,767
8	アクリル酸メチル	65	44	104	64	5	0	0	69	44	2	46	19,558	436	0	0	19,994	168,218	1	168,219	188,213
9	アクリロニトリル	103	67	133	99	18	0	0	117	67	5	72	56,325	5,849	0	0	62,174	287,434	298	287,732	349,906
10	アクロレイン	3	2	9	2	2	0	0	4	2	0	2	51	3,502	0	0	3,553	36	0	36	3,589
12	アセトアルデヒド	44	14	61	40	10	0	0	50	14	2	16	36,681	8,340	0	0	45,021	27,935	14	27,949	72,970
14	アセトンシアノヒドリン	2	0	4	2	0	0	0	2	0	0	0	754	0	0	0	754	0	0	0	754
15	アセナフテン	20	6	35	20	0	0	0	20	6	0	6	11,136	0	0	0	11,136	18,400	0	18,400	29,536
18	アニリン	27	34	66	26	3	0	0	29	33	7	40	1,791	48	0	0	1,839	308,245	1,211	309,456	311,296
20	2-アミノエタノール	137	263	414	96	50	0	0	146	236	77	313	24,693	17,754	0	0	42,447	1,493,817	28,692	1,522,509	1,564,956

* 四捨五入の関係で、各行の合計と合計欄が一致しない場合があります。

大気・水域・土壌・埋立に年間何kg排出されたか

※3 報告事業所数の「全体」は、当該化学物質を取り扱っていると報告があった件数であり、この中には排出量・移動量が0という事業者も含まれます。一方、報告事業所数の「排出」及び「移動」には、排出量・移動量が0の場合、報告事業所数には含まれません。このため、「排出」及び「移動」の合計が、「全体」の合計と異なる場合があります。

(3) PRTRデータでこんなことがわかる

物質別や排出先別、地域別などの項目ごとに集計されたPRTRデータからは、次のようなことがわかります。

- 全国の事業者が大気、公共用水域、事業所内の土壌への排出及び事業所内で埋立処分している
- 全国の事業者が廃棄物として、あるいは下水道への放出によって事業所の外へ移動している
- 全国の届出の対象とならない事業所や家庭、自動車などから排出される

対象化学物質とその量

- 対象化学物質別の
 - 業種別の
 - 都道府県別の
- 排出量・移動量 など



(4) PRTRデータの取扱い上の留意点

PRTRデータを見たり、活用したりする上で留意すべき点は次のとおりです。

1) 届出排出量・移動量の限界

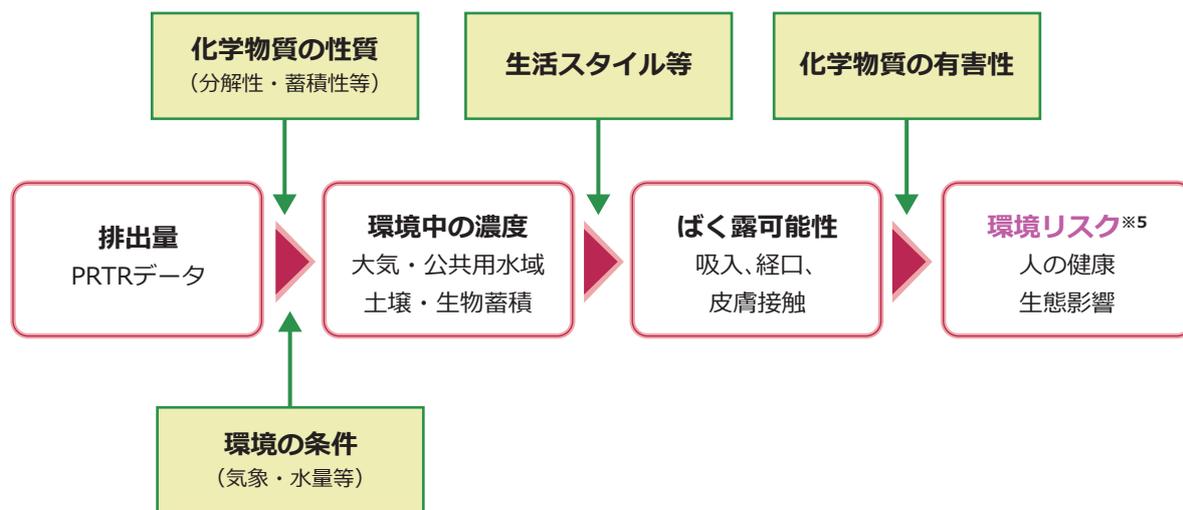
- 一定の要件を満たした事業者が届出を行うため、全国すべての事業者からの排出量等を網羅しているわけではありません。
- 事業者が届け出た排出量等は、必ずしもすべてが実際に測定した値に基づくものではないことから(12ページ参照)、データの精度には限界があります。

2) 届出外排出量の限界

- 届出外排出量については、想定される主要な排出源を対象に国が推計を行っていますが、推計を行った時点で利用可能な信頼できる知見が存在する排出源のみが対象となっており、すべての排出源を網羅したものとはなっていません。
- 届出外排出量については、推計時点で利用可能な信頼できる知見に基づき推計を行っているものの、あくまで推計であり、データの精度には限界があります。また、排出源の種類によっても推計方法が異なるため、精度に開きがあります。

3) 公表データによるリスク評価^{※4}の限界

- 公表されるPRTRデータはあくまで排出量・移動量であり、環境中の濃度や、人や動植物が実際にさらされる化学物質の量(ばく露量)ではありません。また、化学物質が人の健康や動植物に影響を及ぼすおそれ(リスク)の大小を直接表すものでもありません。
- 化学物質による環境や人への影響については、PRTRデータに加え、それが環境中にどのように分布しているのか(環境中の濃度)、実際に人や生物にどれくらい取り込まれるのか(ばく露可能性)、化学物質の有害性の程度、といったさまざまな要因と併せて分析することが必要です。この過程を模式的に示すと次の図のようになります。



- PRTR制度で公表される排出量・移動量のみで人の健康や動植物への影響を検討することはできませんが、排出量の多い物質や地域の特定等、リスク評価あるいはそのための**ばく露評価**^{※6}の際の着目点が把握できます。
- なお、ダイオキシン類については、届出量の単位がmg(ミリグラム:1/1,000グラム)と、他の物質と比べて極端に小さいため、図表中でも単位を区別して表しています。また、ダイオキシンにはいくつもの種類があり、それぞれに毒性が異なるため、毒性の大きさを統一した量(TEQ)に変換されて届出が行われます。(詳細は33ページ参照)



※4 リスク評価とは、人の健康や動植物への影響などを科学的に予測するために、化学物質の有害性とばく露の程度を評価することをいいます。

※5 「環境リスク」については、114ページをご参照ください。

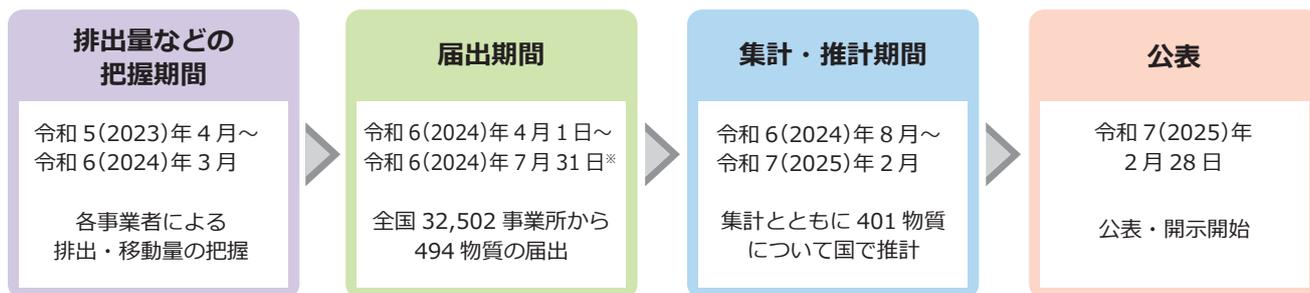
※6 ばく露評価とは、人が皮膚や口、肺などを通じて体内に取り込む化学物質の量を推定し、評価することをいいます。

2 令和5(2023)年度PRTRデータの集計結果

(1) 令和5(2023)年度PRTRデータの概要

令和7(2025)年2月に公表されたPRTRデータ^{※7}の結果は、以下①②を集計したものです。

- ①全国の事業者から令和6(2024)年4月1日から7月31日[※]までに届出のあった、令和5(2023)年4月から翌令和6(2024)年3月までの1年間の化学物質の排出量・移動量
- ②届出の対象にならなかった事業所や家庭、自動車等の移動体などからの国が推計した化学物質の排出量



※紙・磁気による届出の場合は6月30日

届出のあった物質と事業者

今回の集計は、令和3年の制度改正で届出対象物質の見直し(462物質から515物質に変更)がなされて初めてとなる集計結果です。PRTR制度の届出対象である第一種指定化学物質(515物質)のうち、事業者から排出量・移動量について届出があった物質は494物質でした。

事業者から全国32,502事業所の届出があり、1事業所あたりの平均届出物質数は7.3物質でした。

国が推計を行った物質

届出を行った事業者以外からの排出は、届出の対象とならない事業者からの排出や、家庭で 사용되는防虫剤や塗料、洗剤などの排出、自動車等の移動体から排出される401物質を推計しました。



届出・推計の対象物質は平成22(2010)年度PRTRデータから変更されましたので、集計結果を見る際には留意する必要があります。また、前述したように(8ページ)、令和5(2023)年度から事業者の把握対象物質が変更されています。

※7 ここで紹介する令和5(2023)年度PRTRデータは、令和7(2025)年2月の公表時のものです。その後、届出値の修正等により、データが変更となる可能性があります。

(2) 令和5(2023)年度PRTRデータをグラフや表で見る

① 全国の届出排出量・届出外排出量

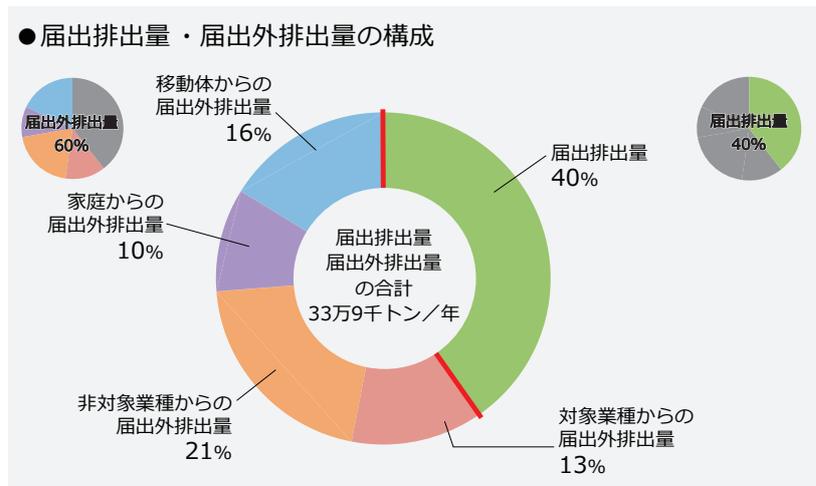
[データの項目]

事業者から届け出られた排出量の494物質と、届出の対象とはならない事業者や家庭、自動車などからの排出量として国が推計した401物質について、それぞれの物質ごとに排出量を足し合わせ、全国で1年間に環境中に排出された排出量を計算します。

[集計・加工例]

届出排出量・届出外排出量の構成をグラフで示してみました。

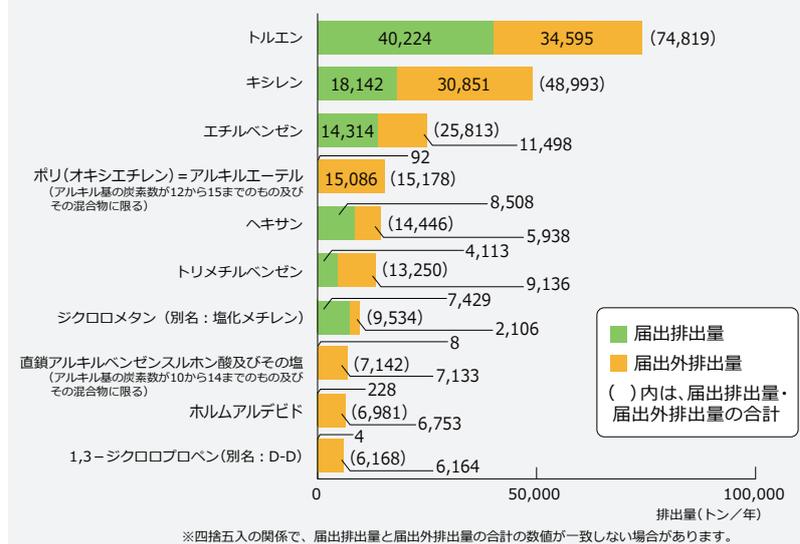
届出排出量と届出外排出量の合計は33万9千トンで、このうち届出排出量は13万7千トン、届出外排出量は20万2千トンとなっています。届出外排出量の内訳は、対象業種が4万3千トン、非対象業種が7万トン、家庭が3万4千トン、自動車などの移動体が5万5千トンです。



[集計・加工例]

届出排出量と届出外排出量の合計が多い上位10物質をグラフで示してみました。

●届出排出量・届出外排出量の合計が多い上位10物質



[データを見る上で留意すること]

排出量の多い物質ほど人の健康や動植物の生息もしくは生育への影響も大きいと考えがちですが、ある化学物質がどの程度の影響を及ぼすおそれがあるかについては、排出量の大小だけでは判断できません。

人の健康や環境への影響については、①化学物質の有害性の程度、②その化学物質が環境中にどのように分布しているのか(環境中の濃度)、③環境中から人や動植物にどれくらい取り込まれるのか(ばく露量)などの情報を総合的に検討する必要があります。

[関連情報]

届出排出量・届出外排出量の合計が多かった上位5物質の主な用途と有害性^{※8}は次のとおりです。

排出量	物質名	主な用途	長時間(反復)ばく露による人の健康や動植物の生息もしくは生育への影響
1位	トルエン	多種多様な化学物質を合成する原料、油性塗料、印刷インキや油性接着剤などの溶剤、ガソリンの成分(排ガスにも含まれる)	トルエンを長期間にわたって体内に取り込んだ結果、視野狭さく、眼のふるえ、運動障害、記憶障害などの神経系の障害のほか、腎臓、肝臓や血液への障害が報告されています。また、トルエンはシックハウス症候群との関連性が疑われていることから、室内空気濃度の指針値が定められています。また、水道水質管理目標値や水質要監視項目の指針値が定められています。現時点では環境中の水生生物へ悪影響を及ぼすことはないとは判断されています。
2位	キシレン	化学物質の合成原料、油性塗料、接着剤、印刷インキや農薬などの溶剤やシンナー、灯油や軽油、ガソリンの成分	高濃度のキシレンは、眼やのどなどに対する刺激性や、中枢神経へ影響を与えることが報告されています。シックハウス症候群との関連が疑われていることから、室内空気濃度の指針値が定められています。また、水質要監視項目の指針値が定められています。現時点では環境中の水生生物へ悪影響を及ぼすことはないとは判断されています。
3位	エチルベンゼン	スチレンの原料、油性塗料や接着剤、インキなどの溶剤、混合キシレンの成分	エチルベンゼンは、シックハウス症候群との関連性が疑われていることから、室内空気濃度の指針値が定められています。現時点では環境中の水生生物へ悪影響を及ぼすことはないとは判断されています。
4位	ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る)	台所用洗剤、洗濯用洗剤、工業用洗剤、化粧品のクリームやローションの乳化剤、農薬の補助剤、医薬品の乳化剤や分散剤	人の皮膚に対して刺激性はないか、あってもごく弱い一時的な刺激性がありますが、湿疹患者に対しては皮膚への感作性を示す可能性があります。食物や飲み物を通じて口から取り込んだ場合について、現時点では人の健康に悪影響を及ぼすことはないと考えられています。なお、皮膚からの経路については、情報の収集が必要であるとされています。
5位	ヘキサン	高密度ポリエチレンやポリプロピレンの重合溶剤、接着剤、塗料やインキなどの溶剤、ガソリンの成分	雌のラットにヘキサンを含む空気を一定期間吸入させた実験では、胎児の体重低下が認められました。また、作業環境における疫学調査では、一定期間空気中から吸入した結果、頭痛、四肢知覚異常、筋力低下などが報告されています。

※8 化学物質一般の有害性については、114ページをご参照ください。また、個別の対象物質の有害性については、以下のウェブサイトが参考となります。

「対象化学物質情報」 https://www.env.go.jp/chemi/prtr/archive/target_chemi.html

「化学物質ファクトシート」 <https://www.prtr.env.go.jp/factsheet/factsheet.html>

② 都道府県別に見る

[データの項目]

下表は、令和5(2023)年度データの都道府県別の届出排出量及び届出外排出量の概要です。この表では、対象事業所からの届出数とその排出量、国が推計を行った排出量、届出分と推計分を合わせた排出量の合計、全国の排出量に占める各都道府県の割合などが示されています。

● 令和5(2023)年度の都道府県別届出排出量及び届出外排出量

都道府県	届出数	届出排出量 (kg/年)	届出外排出量(kg/年)				合計*	排出量合計 (kg/年)*	割合
			対象業種	非対象業種	家庭	移動体			
北海道	1,745	3,084,088	1,529,583	6,550,586	893,740	2,734,690	11,708,599	14,792,687	4.36%
青森県	398	404,677	369,619	2,457,843	721,184	820,517	4,369,163	4,773,840	1.41%
岩手県	490	1,075,962	371,341	1,088,046	563,527	901,426	2,924,340	4,000,302	1.18%
宮城県	721	922,776	634,307	1,297,748	580,375	1,134,621	3,647,051	4,569,827	1.35%
秋田県	451	2,763,692	419,541	758,991	464,451	629,028	2,272,011	5,035,704	1.48%
山形県	446	631,981	433,544	936,170	328,280	707,481	2,405,475	3,037,456	0.90%
福島県	894	2,271,045	929,768	808,676	805,927	1,124,509	3,668,880	5,939,924	1.75%
茨城県	1,063	4,915,879	1,488,457	3,423,195	1,191,603	1,771,402	7,874,658	12,790,536	3.77%
栃木県	697	3,765,234	819,266	1,151,657	688,724	1,309,061	3,968,708	7,733,942	2.28%
群馬県	755	3,196,985	916,123	2,412,519	950,305	1,216,998	5,495,945	8,692,930	2.56%
埼玉県	1,408	5,797,767	2,285,230	1,469,398	1,695,913	2,336,542	7,787,084	13,584,851	4.00%
千葉県	1,221	4,747,527	1,386,237	3,396,729	1,744,859	2,263,357	8,791,182	13,538,709	3.99%
東京都	979	1,240,130	3,592,147	5,412,290	988,796	2,617,447	12,610,680	13,850,810	4.08%
神奈川県	1,217	4,843,607	2,060,977	2,438,814	974,163	2,171,156	7,645,111	12,488,718	3.68%
新潟県	895	2,155,489	901,045	1,531,116	840,373	1,246,722	4,519,256	6,674,745	1.97%
富山県	468	1,733,296	469,372	608,439	287,317	552,700	1,917,829	3,651,124	1.08%
石川県	418	1,651,297	530,997	475,221	322,085	656,194	1,984,496	3,635,793	1.07%
福井県	310	1,703,709	425,593	640,713	238,767	529,846	1,834,919	3,538,628	1.04%
山梨県	283	1,174,457	366,929	419,729	320,197	658,363	1,765,218	2,939,674	0.87%
長野県	1,075	1,439,156	829,231	1,369,748	527,316	1,524,638	4,250,934	5,690,089	1.68%
岐阜県	825	5,407,705	979,322	751,844	744,094	1,213,959	3,689,220	9,096,925	2.68%
静岡県	1,331	7,765,132	1,585,878	1,714,549	1,400,131	1,777,335	6,477,893	14,243,025	4.20%
愛知県	1,900	9,981,982	3,136,864	3,845,115	2,232,686	2,700,538	11,915,203	21,897,185	6.46%
三重県	731	5,344,814	719,042	727,540	761,398	1,290,879	3,498,859	8,843,673	2.61%
滋賀県	601	2,613,837	451,461	315,074	287,045	875,181	1,928,762	4,542,599	1.34%
京都府	526	1,313,671	978,141	435,823	401,177	1,020,065	2,835,205	4,148,876	1.22%
大阪府	1,422	3,823,120	3,258,251	2,333,050	1,171,315	2,053,130	8,815,746	12,638,866	3.73%
兵庫県	1,417	5,432,968	1,789,477	996,933	870,660	1,837,788	5,494,857	10,927,825	3.22%
奈良県	262	381,246	495,757	203,106	388,540	725,089	1,812,492	2,193,738	0.65%
和歌山県	251	849,616	353,884	962,018	650,641	573,449	2,539,992	3,389,608	1.00%
鳥取県	222	419,456	159,938	365,176	237,974	440,817	1,203,905	1,623,361	0.48%
島根県	250	1,613,535	275,674	334,102	390,086	503,404	1,503,267	3,116,801	0.92%
岡山県	759	3,850,110	632,058	965,554	681,003	1,051,699	3,330,314	7,180,424	2.12%
広島県	783	6,891,348	1,057,977	1,760,410	825,624	1,346,485	4,990,496	11,881,844	3.50%
山口県	511	8,120,118	480,866	2,685,700	486,899	858,004	4,511,469	12,631,587	3.72%
徳島県	231	466,967	364,154	670,326	494,549	451,343	1,980,371	2,447,338	0.72%
香川県	350	4,484,347	322,966	440,339	455,212	573,395	1,791,911	6,276,258	1.85%
愛媛県	442	3,705,964	488,141	1,071,769	623,137	734,456	2,917,502	6,623,466	1.95%
高知県	181	523,835	252,984	879,139	413,096	407,681	1,952,900	2,476,735	0.73%
福岡県	1,137	6,439,580	1,488,220	2,256,651	1,185,546	1,819,695	6,750,112	13,189,692	3.89%
佐賀県	283	1,721,916	253,636	609,969	353,938	635,339	1,852,882	3,574,798	1.05%
長崎県	302	1,993,422	511,367	1,110,709	574,221	766,675	2,962,971	4,956,393	1.46%
熊本県	509	1,737,954	549,969	1,592,383	589,871	1,042,228	3,774,450	5,512,404	1.62%
大分県	376	1,353,830	389,852	550,752	551,255	798,372	2,290,231	3,644,061	1.07%
宮崎県	320	499,465	376,305	1,539,859	430,456	705,253	3,051,873	3,551,338	1.05%
鹿児島県	436	430,575	495,040	1,969,132	689,689	901,344	4,055,206	4,485,781	1.32%
沖縄県	210	191,695	396,336	691,121	642,890	382,823	2,113,170	2,304,865	0.68%
合計*	32,502	136,876,959	43,002,869	70,425,768	33,661,036	55,259,286	202,348,959	339,225,918	100%
割合(%)		40.35%	12.68%	20.76%	9.92%	16.29%	59.65%	100%	

※移動体については、航行する船舶など都道府県に配分できないものがあるため都道府県の合計と合計欄の数値が異なる。

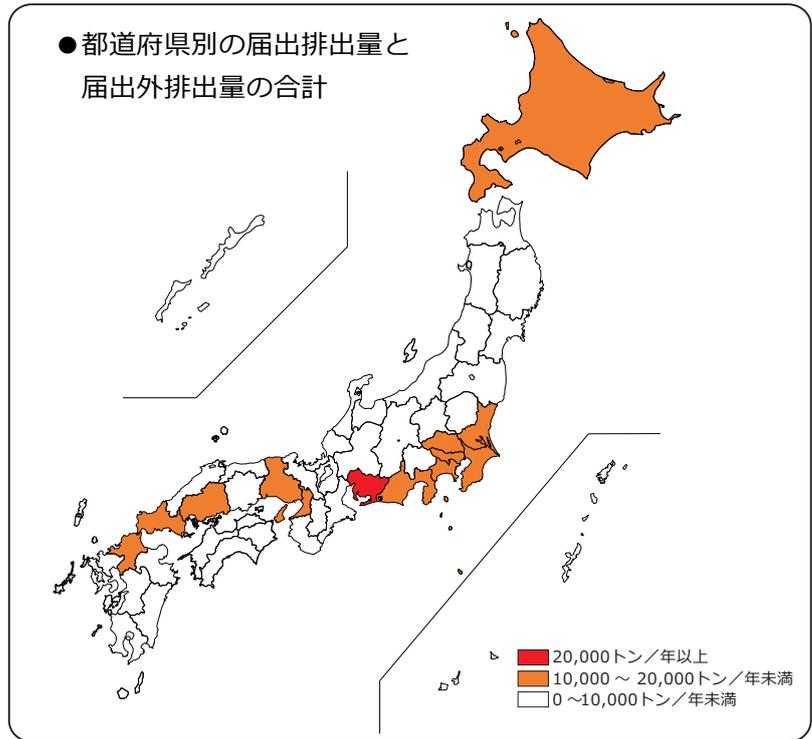
【データの項目】

全国の届出排出量と届出外排出量の合計を都道府県別に集計しました。

【集計・加工例】

排出量の合計をそれぞれ3段階に色分けし、日本地図上に示してみました。

排出量の合計が多い都道府県は、愛知県、北海道、静岡県などでした。



【データの項目】

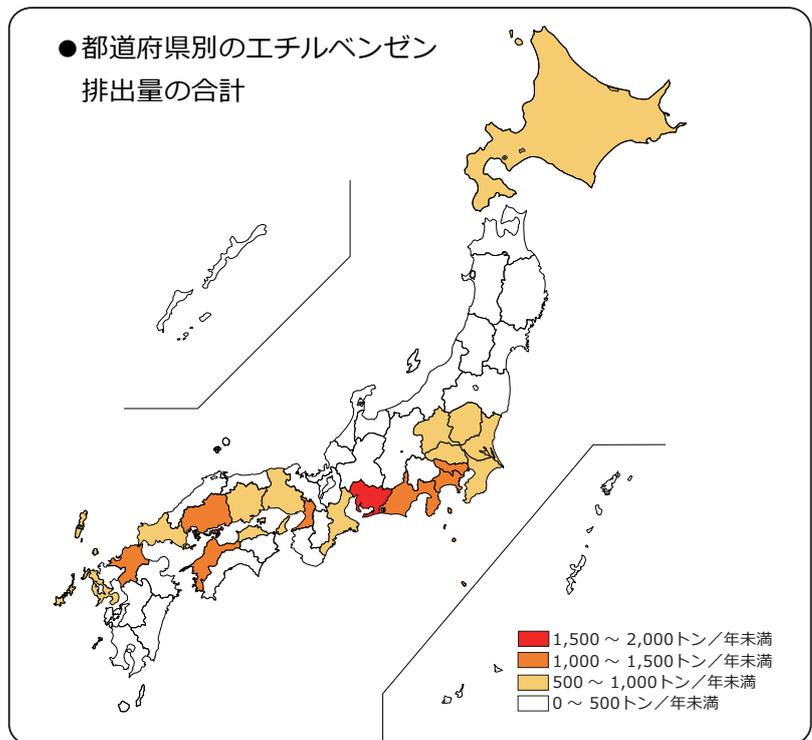
全国で届出排出量と届出外排出量の合計が3番目に多いエチルベンゼンを取り上げ、都道府県別に排出量の合計を集計しました。

【集計・加工例】

排出量の合計をそれぞれ4段階に色分けし、日本地図上に示してみました。

エチルベンゼンの排出量が多い都道府県は、愛知県、神奈川県、広島県などでした。

対象事業所の主な排出業種は、輸送用機械器具製造業や金属製品製造業などです。また、届出の対象とならない事業所や、家庭、自動車などからも多く排出されています。



③ 排出先別割合

[データの項目]

事業者は、大気、公共用水域(河川、海など)、事業所敷地内の土壌、事業所敷地内の埋立処分のどこに化学物質を排出したかについても届け出ます。

ここでは、全国の事業所から届出された合計13万7千トンの化学物質の排出量を、大気、公共用水域、事業所内土壌、事業所内埋立処分の4つの排出先に分けて集計しました。

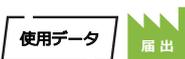
[集計・加工例]

排出先別の排出量の割合を見ると、大気への排出が86%で大部分を占めていることがわかります。

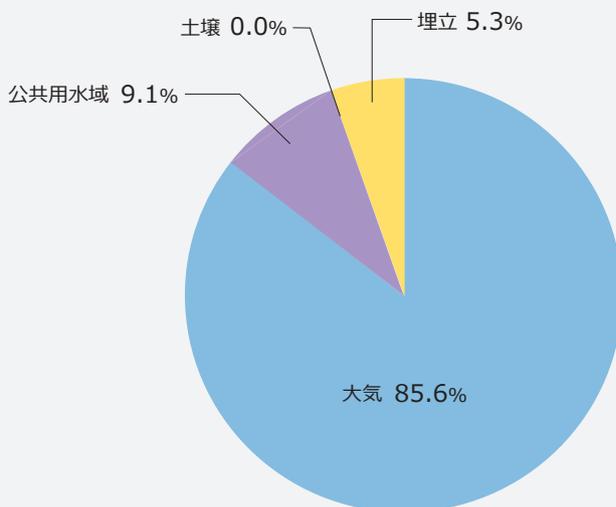
● 排出先別届出排出量

排出先	大気	公共用水域	土壌	埋立	合計
排出量(トン/年)	117,169	12,431	26	7,250	136,877
割合(%)	85.6	9.1	0.0	5.3	100

* 四捨五入の関係で、各列の合計と合計値の数値が一致しない場合があります。



● 排出先別割合 (排出量13万6千トン/年)



[データを見る上で留意すること]

大気や水域、土壌に排出された化学物質の中には、呼吸や飲食、皮膚接触などを通して人の身体に取り込まれ、健康に有害な影響を及ぼすおそれのあるものもあります。このため、どんな物質がどこへ排出されているかは重要な情報です。

※土壌への排出と埋立の違い

「土壌」への排出は、漏洩や地下浸透などによって環境中へ排出した量を指します。

「埋立」は、対象事業者の事業所から対象物質を含む廃棄物が発生する場合に、事業者が同一の事業所内の埋立地へ埋め立てた量を指します。なお、産業廃棄物処理業者に廃棄物処分を委ねた場合は、「当該事業所の外への移動量」となります。

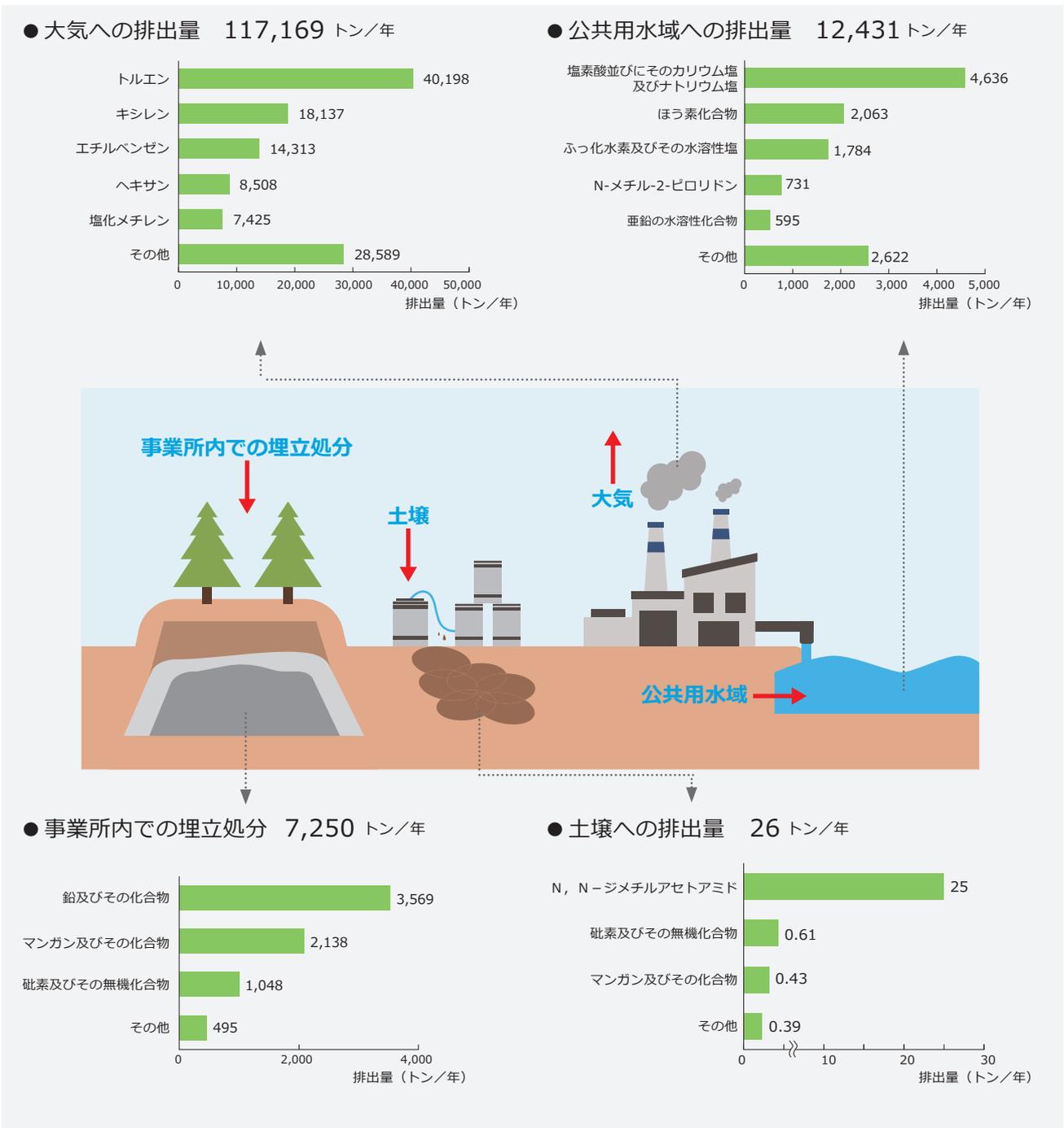
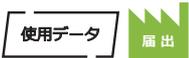
④ 大気・水・土壌に多く排出されている物質

[データの項目]

全国の事業所から報告された化学物質の物質名と排出量を、排出先別に集計しました。

[集計・加工例]

排出先別に排出量の多い物質(大気、公共用水域5物質、事業所内埋立、土壌3物質)を棒グラフで示してみます。なお、グラフごとに横軸の単位が異なることに留意しましょう。



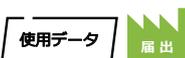
⑤ 排出量の多い業種

[データの項目]

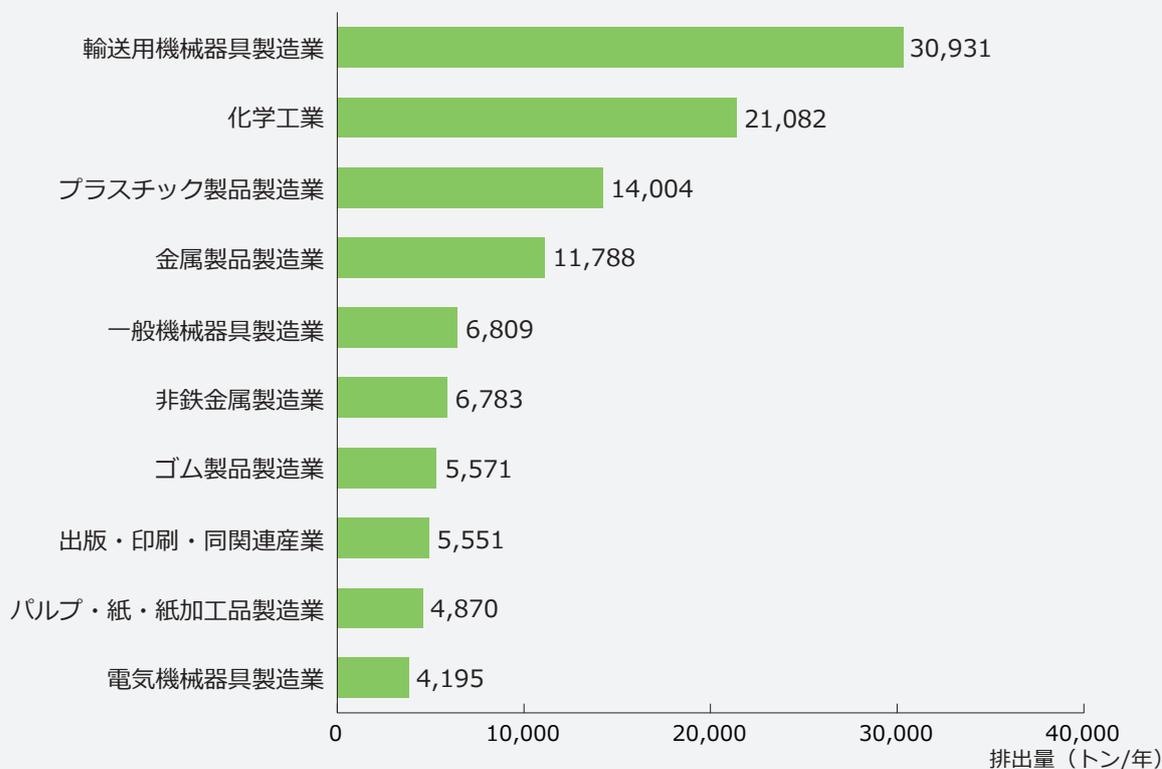
事業者からの届出には、その事業者が属する業種(例えば、化学工業、プラスチック製品製造業など)が記入してあります。ここでは、届出データのうち同じ業種に属する事業者の排出量を合計し、業種別の排出量を算出しました。

[集計・加工例]

棒グラフにして排出量が多い順番に10業種を示してみました。



● 排出量の多い上位10業種



* 各業種の詳しい解説は、PRTR 排出量等算出マニュアル第5.2 版「4-1-2 対象業種の概要」をご参照ください。
(https://www.env.go.jp/chemi/prtr/notification/sansyutsu/Tougou_all.pdf)

[データを見る上で留意すること]

このデータは、異なる物質の排出量を単純に足し合わせたもので、その業種から排出される化学物質が環境にどのような影響を与えているのかを具体的に示す情報ではありません。ある業種がどの化学物質を優先的に削減した方が良いかといったことを知るためには、物質ごとや大気、水、土壌などの媒体ごとに見る必要があります。同じように「排出量の多い上位10事業所」といった集計も、物質ごとに詳細に見ていくことが必要です。

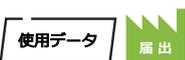
[データの項目]

次に、同じ業種に属する事業所の排出量を物質ごとに集計し、業種によって排出される物質の種類や量にどのような違いがあるのかを見てみましょう。

業種別に集計することで、ある物質の削減に優先的に取り組む必要があるのはどの業種かといったことを判断する手がかりを得ることができます。

[集計・加工例]

主な業種として化学系製造業、金属系製造業、機械系製造業に分けて、それぞれ排出量が多い物質順に円グラフに示してみました。



● 主な業種から排出される物質の割合

化学系製造業

- 化学工業、塩製造業、医薬品製造業、農薬製造業
- 石油製品・石炭製品製造業
- プラスチック製品製造業
- ゴム製品製造業

金属系製造業

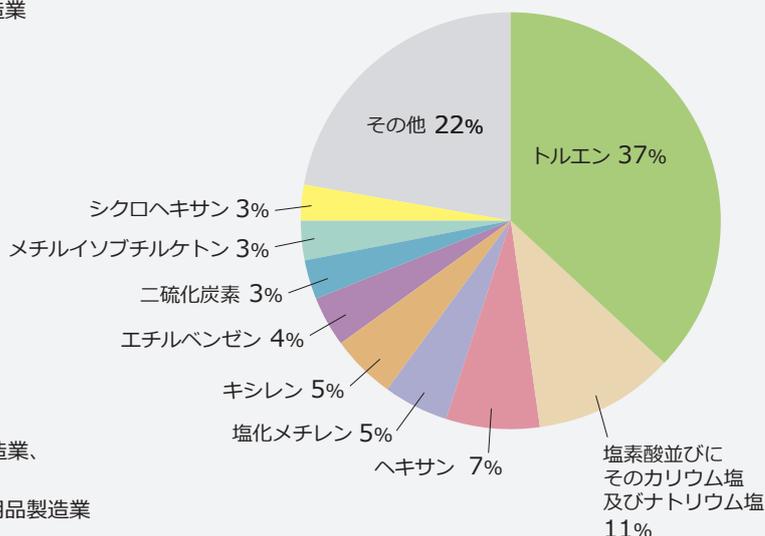
- 鉄鋼業
- 非鉄金属製造業
- 金属製品製造業

機械系製造業

- 一般機械器具製造業
- 電気機械器具製造業、電子応用装置製造業、電気計測器製造業
- 輸送用機械器具製造業、鉄道車両・同部品製造業、船舶製造・修理業、船用機関製造業
- 精密機械器具製造業、医療用機械器具・医療用品製造業

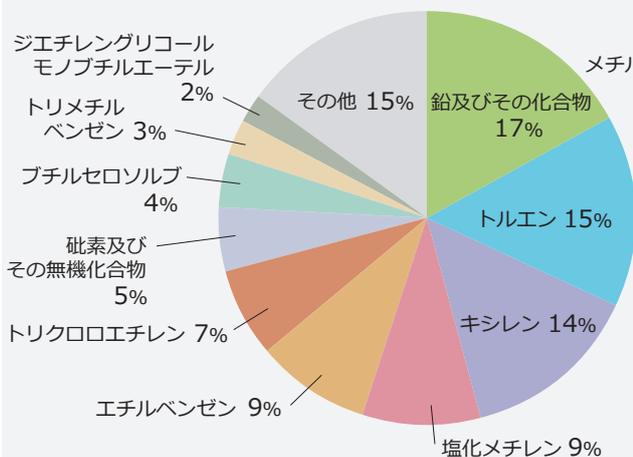
化学系製造業

排出量合計：4万2千トン/年



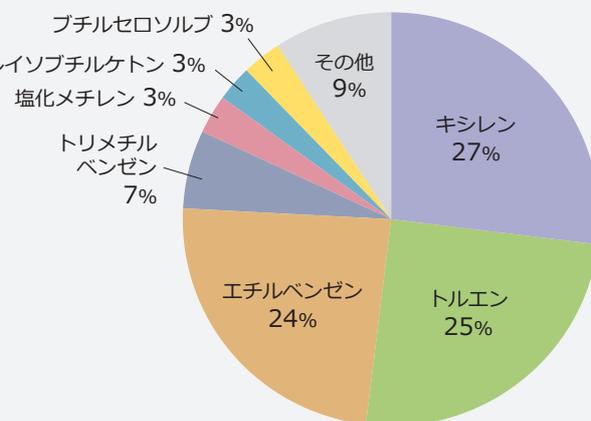
金属系製造業

排出量合計：2万1千トン/年



機械系製造業

排出量合計：4万3千トン/年



※四捨五入のため合計が100%にならない場合がございます。

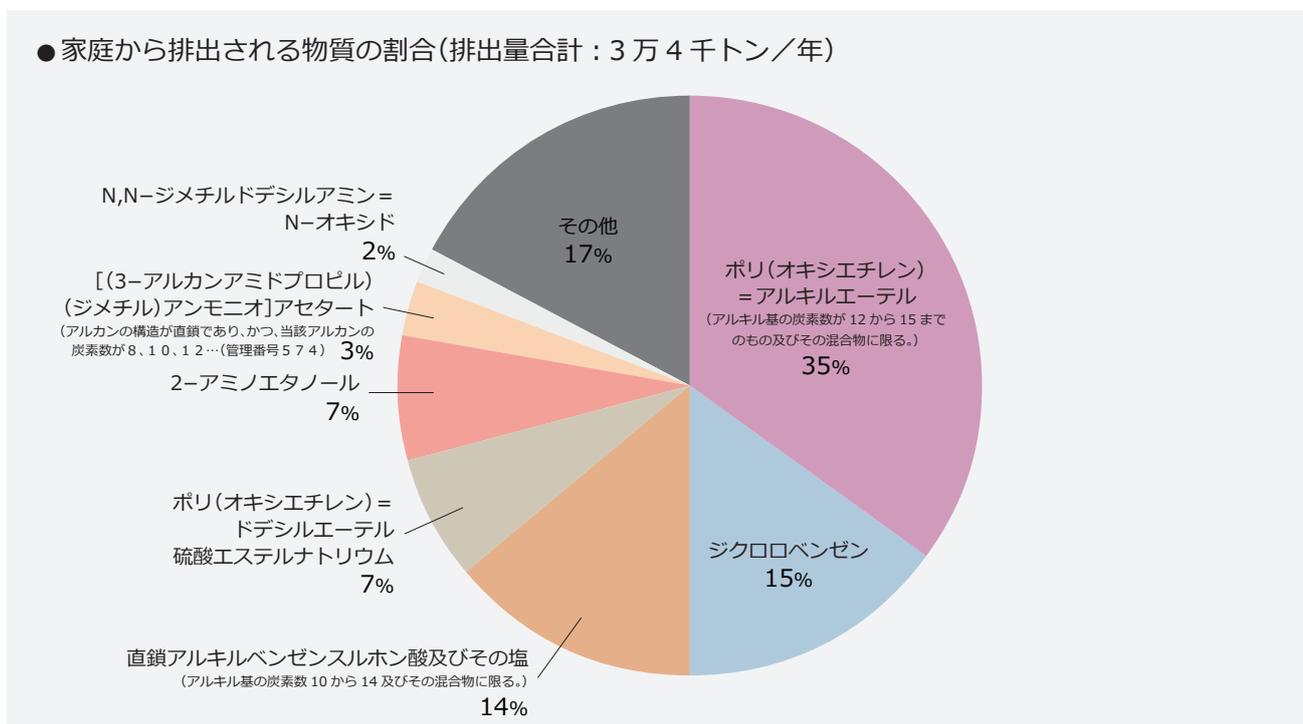
⑥家庭から排出される物質

[データの項目]

事業所からの報告とは別に、国では届出対象事業所以外からの排出量を推計しています。ここでは、家庭から排出される物質の排出量を集計してみます。

[集計・加工例]

国が推計したデータのうち、家庭から排出される量が多い物質をグラフで示してみました。



排出量の多い物質の主な用途は次のとおりです。

- ・ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテルは、家庭の台所用合成洗剤や洗濯用合成洗剤などに使われています。
また、化粧品のクリームやローションなどにも使用されています。
- ・ジクロロベンゼンは、家庭で使用される衣類の防虫剤やトイレなどの防臭剤が主な排出源となっています。
- ・直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩は、一般にはLASといわれており、そのほとんどが家庭の洗濯用合成洗剤として使われています。
- ・ポリ(オキシエチレン) = ドデシルエーテル硫酸エステルナトリウムは、シャンプーの基材として使われています。
- ・2-アミノエタノールは、家庭用や業務用の洗剤や洗浄剤の中和剤、金属腐食防止剤などに使われています。

⑦身の周りの気になる物質

発がん性があると評価されている物質や自動車などから排出されている物質など、身の周りの気になる化学物質の排出量を見てみましょう。

a)発がん性があると評価されている物質

[データの項目]

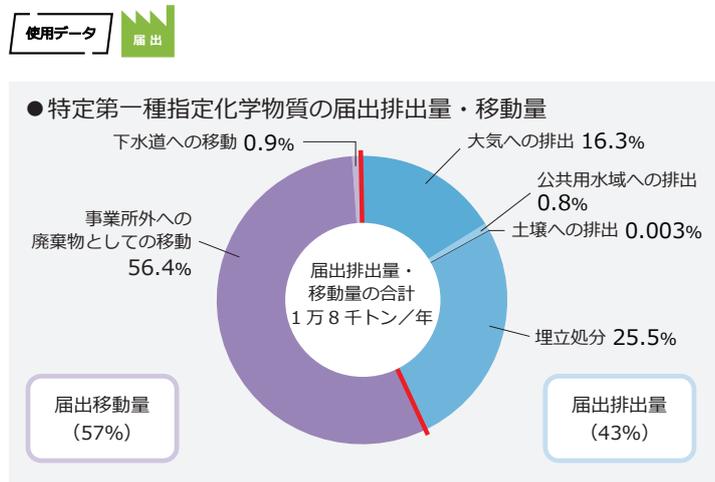
令和5(2023)年度PRTR届出では、発がん性などがあると評価されている物質(特定第一種指定化学物質)(23物質)のうち、21物質のデータがありました。

特定第一種指定化学物質※11

- ・アセトアルデヒド
- ・石綿
- ・エチレンオキシド
- ・カドミウム及びその化合物
- ・六価クロム化合物
- ・クロロエチレン(別名:塩化ビニル)
- ・3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメタン
- ・1,2-ジクロロプロパン
- ・ダイオキシン類
- ・トリクロロエチレン
- ・トルイジン
- ・鉛及びその化合物
- ・ニッケル化合物
- ・ビス(トリブチルスズ)＝オキシド
- ・砒素及びその無機化合物
- ・1,3-ブタジエン
- ・2-プロモプロパン
- ・ベリリウム及びその化合物
- ・ベンジリジン＝トリクロリド
- ・ベンゼン
- ・ペンタクロロフェノール
- ・ポリ塩化ビフェニル(別名:PCB)
- ・ホルムアルデヒド

[集計・加工例]

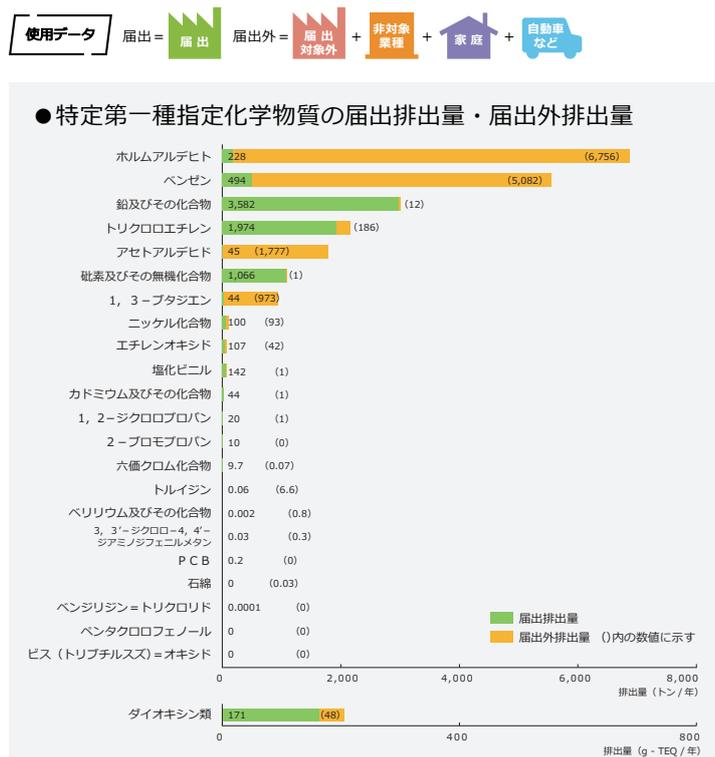
特定第一種指定化学物質の届出排出量と届出移動量を排出先・移動先ごとに集計し、グラフで示してみました。



[集計・加工例]

特定第一種指定化学物質の届出排出量と届出外排出量を集計し、排出量が多い順番にグラフで示してみました。なお、ダイオキシン類は他の物質と排出量の単位が異なるため、グラフを別にしました。

排出量が多かった物質はホルムアルデヒドやベンゼンでした。これらは主に自動車や船舶などの排気ガスに含まれて排出されています。



b)自動車などの移動体から排出される物質

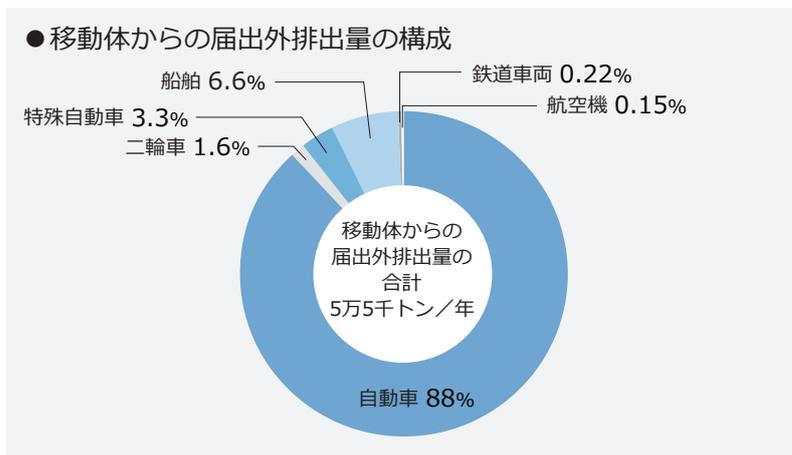
[データの項目]

移動体からの排出量の構成と、自動車などの移動体から排出される物質にはどのようなものがあるのか、見てみましょう。

[集計・加工例]

移動体からの排出量に占める、各移動体の種類別の割合をグラフで示してみました。

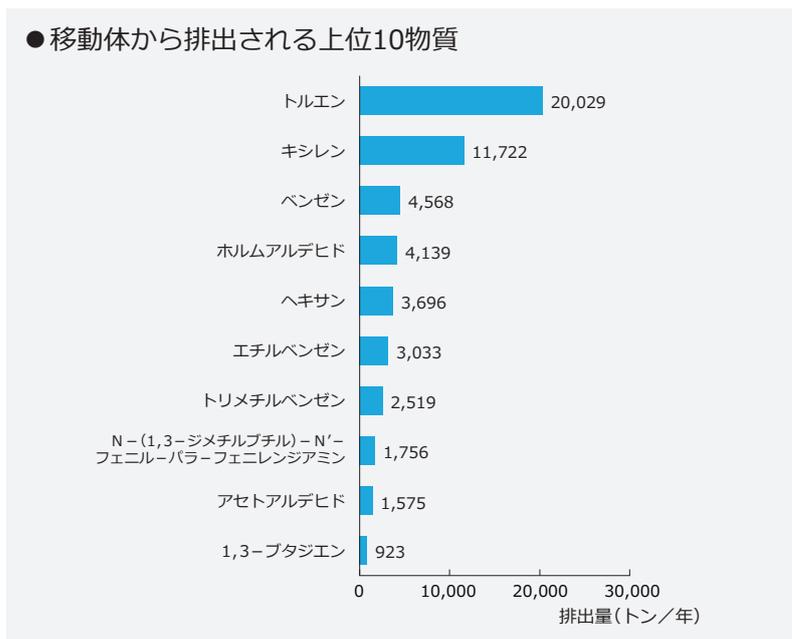
使用データ 自動車など



[集計・加工例]

国による推計データから、自動車などの移動体のデータを排出量が多い上位10物質の順にグラフで示してみました。

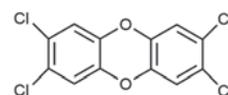
移動体から多く排出される物質は、事業所からの届出排出量の多いトルエンやキシレンでした。3番目は、ベンゼンでした。また、4番目のホルムアルデヒドは、シックハウス症候群の原因物質の一つといわれ、ディーゼル車からの排出が多いとされています。



*ダイオキシン類全体の毒性の強さを表す毒性等量(TEQ)

ダイオキシン類は、PCDD(ポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン)、PCDF(ポリ塩化ジベンゾフラン)にコプラナー-PCBを加えた総称です。また、それぞれの異性体^{※12}ごとに毒性の強さが異なっており、PCDDのうち2と3と7と8の位置に塩素の付いたもの(2,3,7,8-TCDD(四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン))がダイオキシン類の仲間の中で最も毒性が強いことが知られています。そのため、ダイオキシン類としての全体の毒性を評価するためには、合計した影響を考慮する必要があります。

そこで、最も毒性の強い2,3,7,8-TCDDの毒性を1として他のダイオキシン類の仲間の毒性の強さを換算した係数が用いられています。多くのダイオキシン類の量や濃度のデータは、この毒性等価係数(TEF: Toxic Equivalency Factor)を用いてダイオキシン類の毒性を足し合わせた値(通常、毒性等量(TEQ: Toxic Equivalent))という単位で表現)が用いられています。



CAS登録番号:1746-01-6
2,3,7,8-テトラクロロジベンゾ-パラ-ジオキシン

※12 異性体とは、分子式は同じで異なった物理的・化学的性質を持つ化合物を指します。これは分子内における原子の配列が異なるために起こります。なお、PCDD, PCDFの塩素置換数は1~8であり、多くの異性体が存在します。

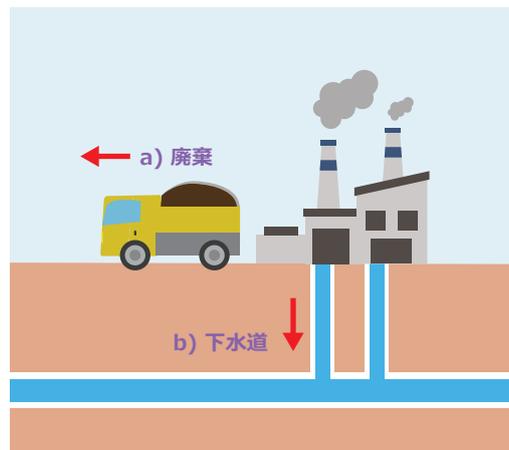
⑧ 移動量

[データの項目]

事業所は、大気や公共用水域、土壌などへの排出量とは別に、「移動量」も届け出ることとされています。

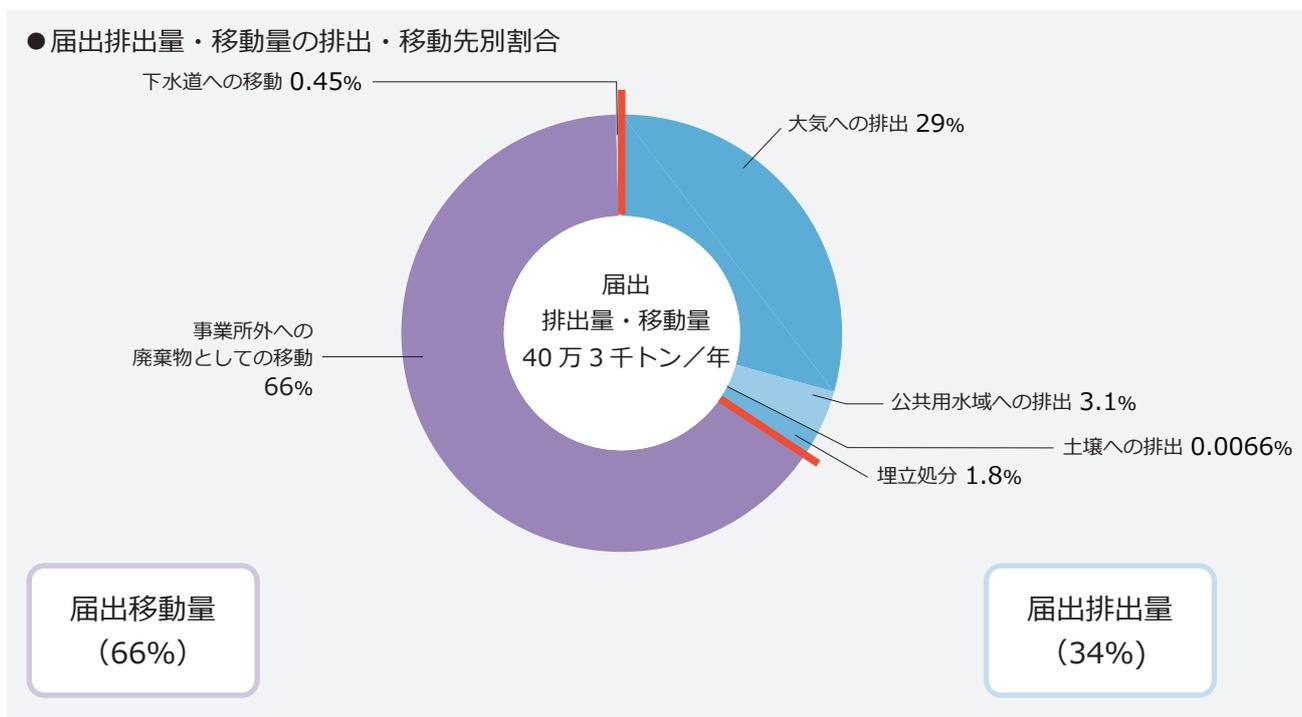
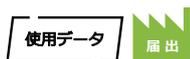
移動量には、

- a) 対象事業者の事業所から発生した対象化学物質を含む廃棄物を、廃棄物処理業者に処分を委託して、当該事業所の外へ移動した量
- b) 事業所内での工程からの排水や排水処理施設・装置からの排出などを、**下水道**^{*13}に放出した量の二つが該当します。



[集計・加工例]

届出排出量・移動量に占める、廃棄物としての移動と下水道への移動の割合をグラフで示してみました。



届出移動量の合計は、26万6千トンで、届出排出量・移動量の合計の66%を占めています。うち、ほとんどが事業所外への廃棄物としての移動(26万4千トン)となっており、下水道への移動は1.8千トンです。

※13 下水道とは、下水道法で、「下水を排除するために設けられる排水管、排水渠その他の排水施設など」と定められており、家庭や工場などで汚れた水を、下水管渠を通じて処理場に集め、浄化して自然に返す施設です。

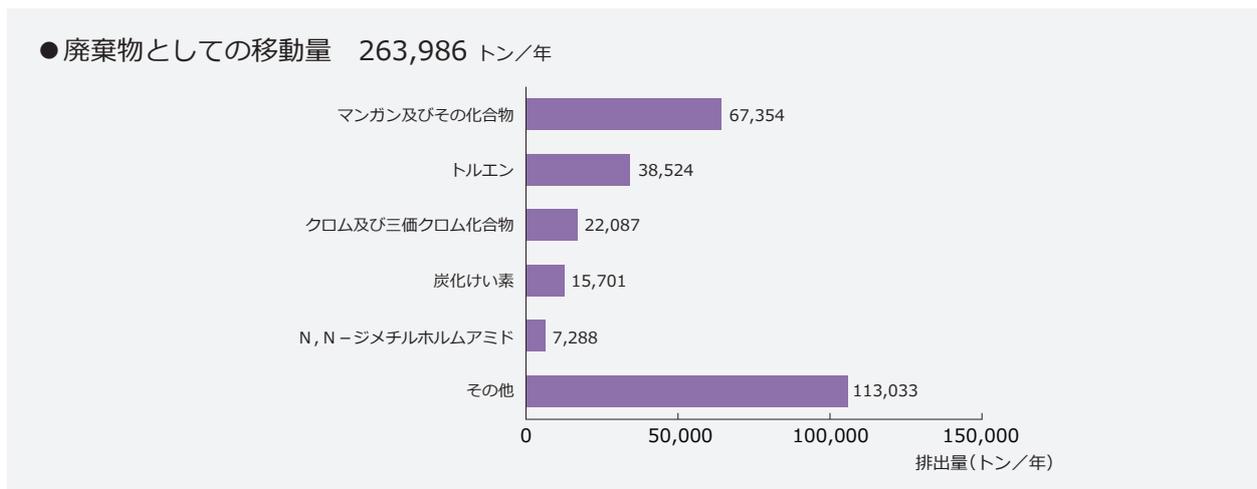
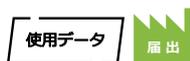
a) 廃棄物としての移動

[データの項目]

事業所では、様々な種類の廃棄物が発生します。平成22(2010)年度のデータから、移動量に加えて廃棄物の種類や処理方法も届け出ることとされています。

[集計・加工例]

廃棄物として移動される量の上位5物質をグラフで示してみました。



[集計・加工例]

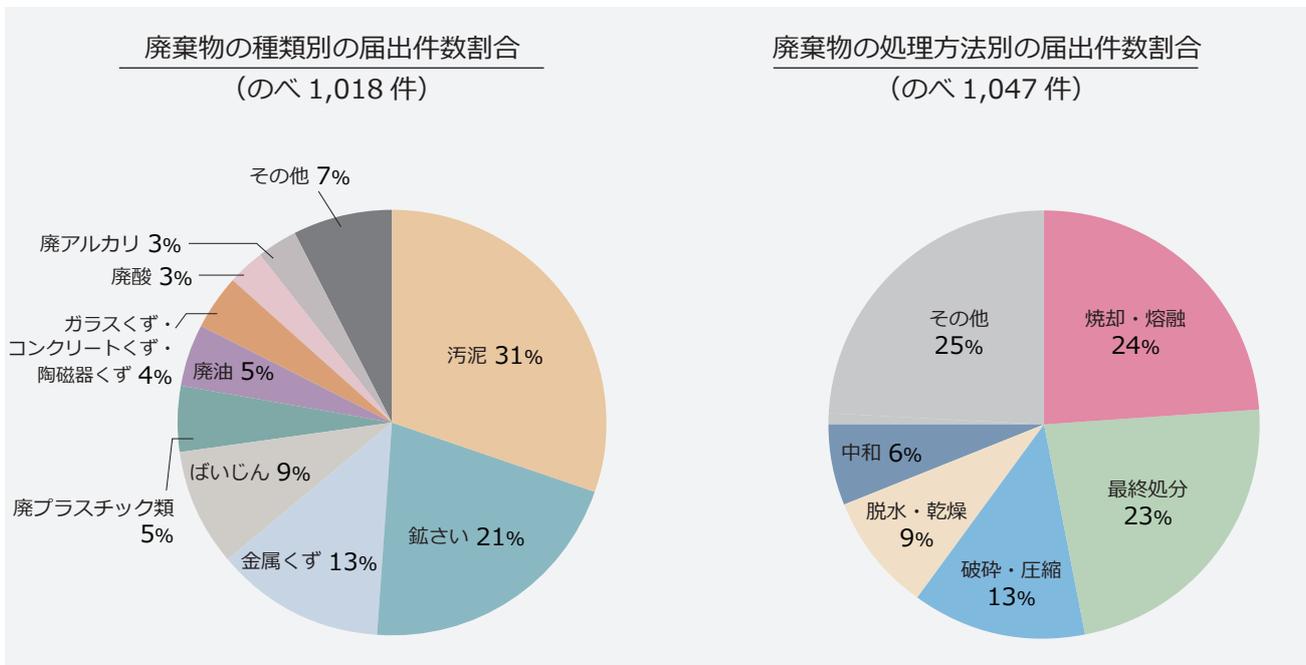
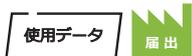
廃棄物としての移動量が多いマンガン及びその化合物とトルエンについて、廃棄物の種類や処理方法ごとに届出件数の割合を次ページのグラフに示してみました。化学物質の移動量の割合ではありませんので留意しましょう。また、1つの物質でも廃棄物の種類や処理方法を複数届け出ている場合も含まれます。

廃棄物の主な種類と処理方法を表に整理しました。

種類	内容	処理方法	内容
汚泥	工場廃水等の処理後に残る泥状のもの及び各種製造工程において生ずる泥状のもので、有機性及び無機性のすべてのもの	脱水・乾燥	(脱水) 一般に濃縮汚泥から水分を除去する操作 (乾燥) 水分の多い廃棄物すなわち汚泥等から水分を気化蒸発させること
廃油	鉱物性油及び動植物性油脂に係るすべての廃油	焼却・溶融	(焼却) 有機性廃棄物を燃焼分解し廃棄物の安定化、減容化を行うこと (溶融) 物質を溶融流動する温度以上に加熱することによって、有機物を熱分解・燃焼させ、無機物を溶融スラグ化、被溶融物に含まれる有害物を溶融スラグあるいは溶融金属中に固溶化させること
廃酸	廃硫酸、廃塩酸、有機酸類をはじめとするすべての酸性廃液。中和処理した場合に生ずる沈でん物は汚泥として取り扱う。		油水分離
廃アルカリ	廃ソーダ液をはじめとするすべてのアルカリ性廃液。中和処理した場合に生ずる沈でん物は汚泥として取り扱う。	中和	酸やアルカリを中性近くまで pH 調節すること
廃プラスチック類	合成高分子系化合物に係る固形状及び液状のすべての廃プラスチック類	破碎・圧縮	廃棄物の処理・処分を容易にするために寸法、容積を減少させることであり、圧縮力、衝撃力、せん断力、あるいはこれらを複合して利用すること
金属くず	事業活動に伴って生じた鉄鋼または非鉄金属の研磨くず及び切削くず等	最終処分	廃棄物を最終的に自然環境に還元すること。埋立処分及び海洋投入処分がある。
ガラスくず コンクリートくず 陶磁器くず	事業活動に伴って生じたガラスくず、コンクリートくず、耐火れんがくず、陶磁器くず等		
鉱さい	事業活動に伴って生じた高炉、平炉、転炉等の残さい等		
ばいじん	ばい煙発生施設または汚泥、廃油、廃酸、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、もしくは金属くずの焼却施設において発生するばいじんであって、集じん施設によって集められたもの		

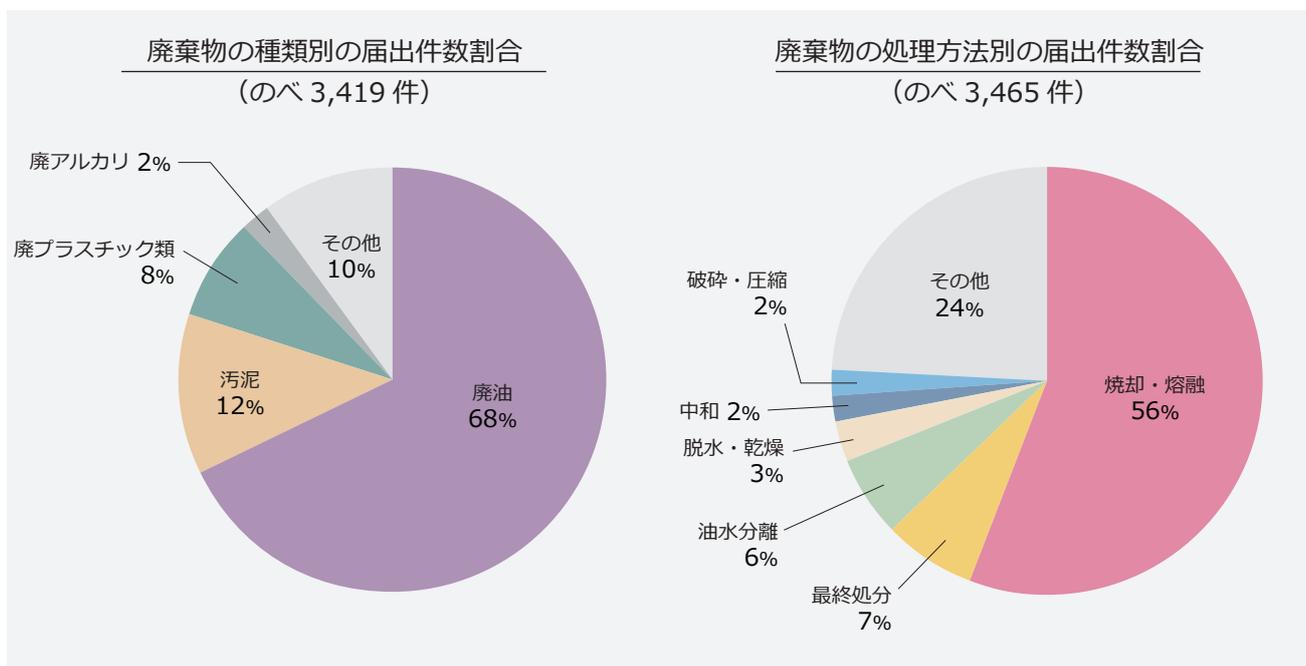
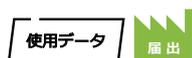
●マンガン及びその化合物の廃棄物の種類と処理方法

マンガン及びその化合物は、汚泥や鉱さい、金属くずとして廃棄物処理業者に引き渡す事業者が多く、最終処分場に埋め立てられるか焼却・溶融処理される割合が高くなっています。



●トルエンの廃棄物の種類と処理方法

トルエンは、廃油として廃棄物処理業者に引き渡す事業者が多く、焼却処分される割合が高くなっています。



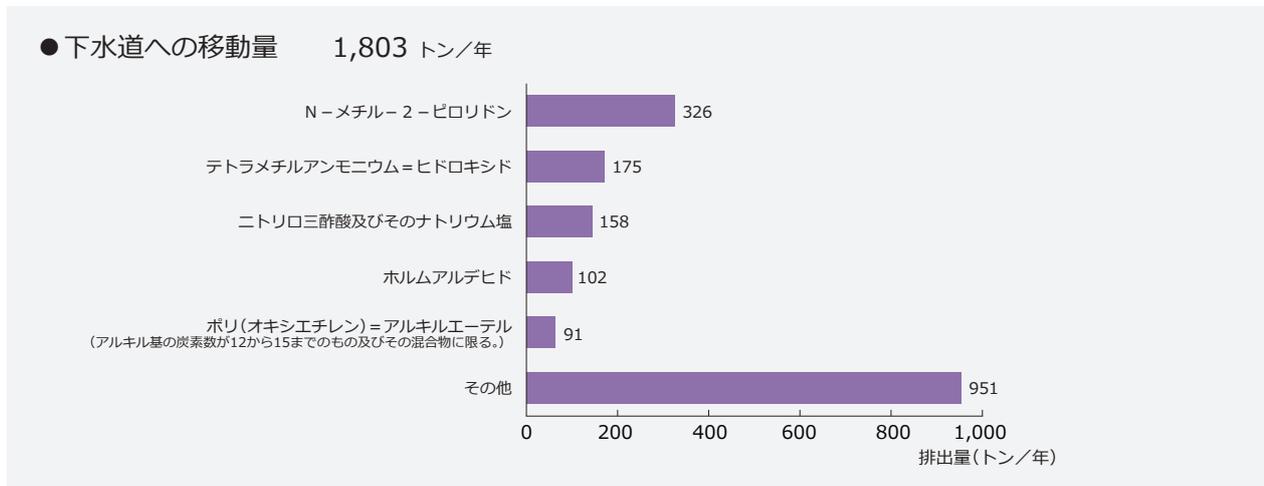
b) 下水道への移動

[集計・加工例]

下水道へ移動される量の上位 5 物質をグラフで示してみました。

使用データ

届出



「PRTRけんさくくん」で調べてみよう!



令和 5 (2023) 年度のデータから、下水道への移動量に加えて移動先の**下水道終末処理施設の名称**^{※14}も調べることができます。例えば、「PRTRけんさくくん」^{※15}を使うと、自分が住んでいる地域の下水道終末処理施設に、どの事業所からどのような化学物質が移動しているかがわかります。

① 「検索・抽出条件の設定」画面で、「事業所所在地」と「移動先の下水道終末処理施設の名称」を入力して、絞り込み検索をクリックします。

② 指定した下水道終末処理施設に移動している事業者のリストが表示されます。「排出量集計」ボタンをクリックすると、排出先別、業種別、第一種指定化学物質別に集計表が表示されます。

※14 下水道終末処理施設の名称リストは、以下をご参照ください。

https://www.env.go.jp/chemi/prtr/notification/submit/gesui_name.html

※15 「PRTRけんさくくん」の詳しい使い方については、54ページをご覧ください。

3 平成 22(2010)年度～令和 5(2023)年度 PRTRデータの経年変化

令和 3(2021)年 10 月の政令改正により、対象化学物質が 462 物質から 515 物質に変更となりました。したがって、追加対象化学物質を含めた 515 物質の対象化学物質を対象とし、届出排出量・移動量の集計を行っています。

PRTRデータの集計結果は毎年公表されるため、ある物質の排出量など自分の関心のある項目に注目し、何年にもわたって継続的にデータを見ることは、増減の傾向を知り、削減の取組の成果が上がっているかどうかを確認するのに有効です。

ここでは、政令改正前後で継続して対象物質となっている319物質の平成22(2010)～令和 5(2023)年度までの変化を表とグラフで示しました。

追加対象化学物質の届出排出量・移動量の集計結果については、3.(4)に記載しています。

● 継続物質	政令改正前後で継続して対象物質である319物質
● 追加対象化学物質	政令改正で追加された196物質
● 削除物質	政令改正で削除された142物質

(1) 届出事業所数の変遷

令和 5(2023)年度の届出事業所数は32,502事業所でした。届出事業所数は前年度より195事業所増えています。全国の届出状況は次のとおりです。

年度	平成 22 (2010) 年度	平成 23 (2011) 年度	平成 24 (2012) 年度	平成 25 (2013) 年度	平成 26 (2014) 年度	平成 27 (2015) 年度	平成 28 (2016) 年度	平成 29 (2017) 年度	平成 30 (2018) 年度	令和元 (2019) 年度	令和 2 (2020) 年度	令和 3 (2021) 年度	令和 4 (2022) 年度	令和 5 (2023) 年度
届出事業所数	37,788	37,117	36,940	36,341	35,952	35,644	34,979	34,560	33,996	33,596	33,132	32,870	32,307	32,502
届出物質種類数	436	435	436	435	435	436	433	434	435	436	432	432	434	494

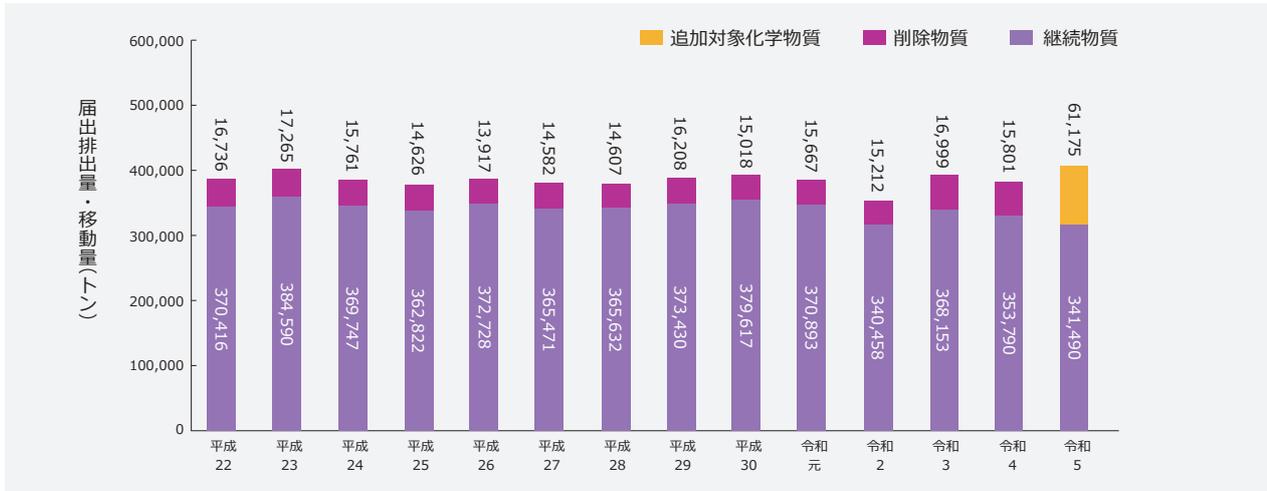
(2) 全国の排出量・移動量

[データの項目]

平成22(2010)～令和 5(2023)年度の届出排出量と届出移動量を見てみましょう。

[集計・加工例]

平成22(2010)～令和 5(2023)年度の届出排出量と届出移動量を足した合計を、継続物質、追加対象化学物質、削除物質に色分けして棒グラフで示してみました。内訳は、右ページの表に示しています。



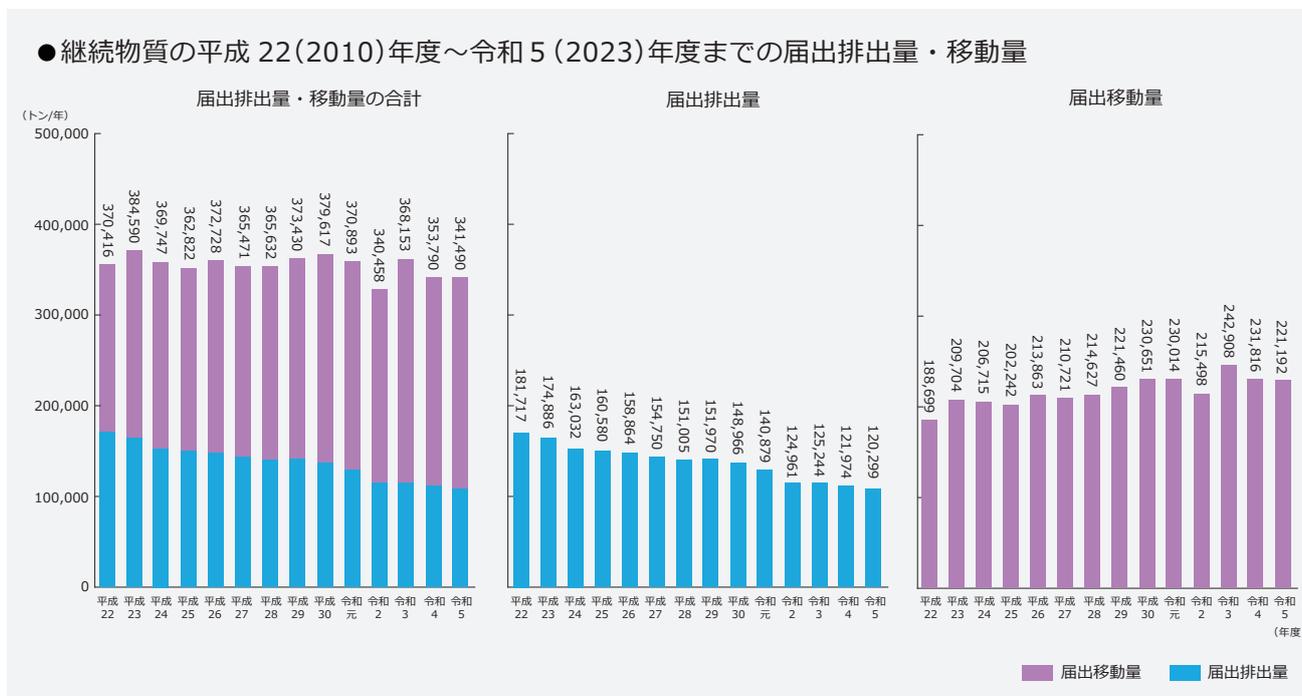
排出先	平成 22 (2010) 年度	平成 23 (2011) 年度	平成 24 (2012) 年度	平成 25 (2013) 年度	平成 26 (2014) 年度	平成 27 (2015) 年度	平成 28 (2016) 年度	平成 29 (2017) 年度	平成 30 (2018) 年度	令和元 (2019) 年度	令和 2 (2020) 年度	令和 3 (2021) 年度	令和 4 (2022) 年度	令和 5 (2023) 年度	
排出量 (トン/年)	大気	164,631 (164,940)	158,236 (158,552)	147,756 (148,036)	145,608 (145,909)	144,032 (144,265)	140,347 (140,568)	136,403 (136,626)	137,799 (138,011)	135,554 (135,771)	128,409 (128,619)	113,424 (113,622)	113,528 (113,735)	110,735 (110,940)	106,588 (117,169)
	公共用水域	8,551 (8,777)	8,408 (8,610)	7,576 (7,767)	7,286 (7,471)	7,129 (7,284)	7,070 (7,203)	7,212 (7,364)	7,003 (7,150)	7,082 (7,249)	6,980 (7,130)	6,431 (6,542)	6,667 (6,785)	6,175 (6,273)	6,457 (12,431)
	土壌	116 (116)	154 (154)	1.7 (1.7)	5.4 (5.4)	1.5 (1.5)	2.9 (3.1)	2.9 (2.9)	2.9 (3.1)	2.5 (2.5)	202 (202)	25 (25)	1.6 (1.6)	2.5 (2.5)	26 (26)
	埋立	8,419 (8,428)	8,088 (8,106)	7,698 (7,698)	7,681 (7,681)	7,702 (7,702)	7,330 (7,330)	7,387 (7,387)	7,165 (7,165)	6,328 (6,328)	5,287 (5,287)	5,081 (5,081)	5,047 (5,047)	5,061 (5,061)	7,228 (7,250)
	排出量合計	181,717 (182,261)	174,886 (175,421)	163,032 (163,503)	160,580 (161,068)	158,864 (159,252)	154,750 (155,104)	151,005 (151,380)	151,970 (152,329)	148,966 (149,350)	140,879 (141,237)	124,961 (125,270)	125,244 (125,570)	121,974 (122,276)	120,299 (136,877)
	移動量 (トン/年)	廃棄物	187,302 (203,207)	208,532 (224,987)	205,627 (220,617)	201,091 (215,075)	212,850 (226,249)	209,760 (223,782)	213,656 (227,699)	220,615 (236,380)	229,836 (244,389)	229,193 (244,437)	214,771 (229,614)	242,042 (258,643)	231,073 (246,522)
下水道	1,397 (1,685)	1,172 (1,447)	1,088 (1,388)	1,150 (1,305)	1,014 (1,144)	961 (1,166)	970 (1,158)	845 (929)	815 (895)	822 (886)	727 (787)	866 (939)	744 (794)	915 (1,803)	
移動量合計	188,699 (204,891)	209,704 (226,434)	206,715 (222,005)	202,242 (216,380)	213,863 (227,393)	210,721 (224,949)	214,627 (228,858)	221,460 (237,309)	230,651 (245,284)	230,014 (245,323)	215,498 (230,401)	242,908 (259,582)	231,816 (247,316)	221,192 (265,789)	
届出排出量・移動量合計 (トン/年)	370,416 (387,152)	384,590 (401,855)	369,747 (385,508)	362,822 (377,447)	372,728 (386,645)	365,471 (380,053)	365,632 (380,238)	373,430 (389,638)	379,617 (394,634)	370,893 (386,561)	340,458 (355,671)	368,153 (385,152)	353,790 (369,591)	341,490 (402,666)	

※数値は、継続物質の届出排出量・移動量、()内の数値は、総届出排出量・移動量です。



[集計・加工例]

継続物質に注目して平成22(2010)～令和5(2023)年度の届出排出量と届出移動量を棒グラフで示してみました。内訳は、前ページの表に示しています。



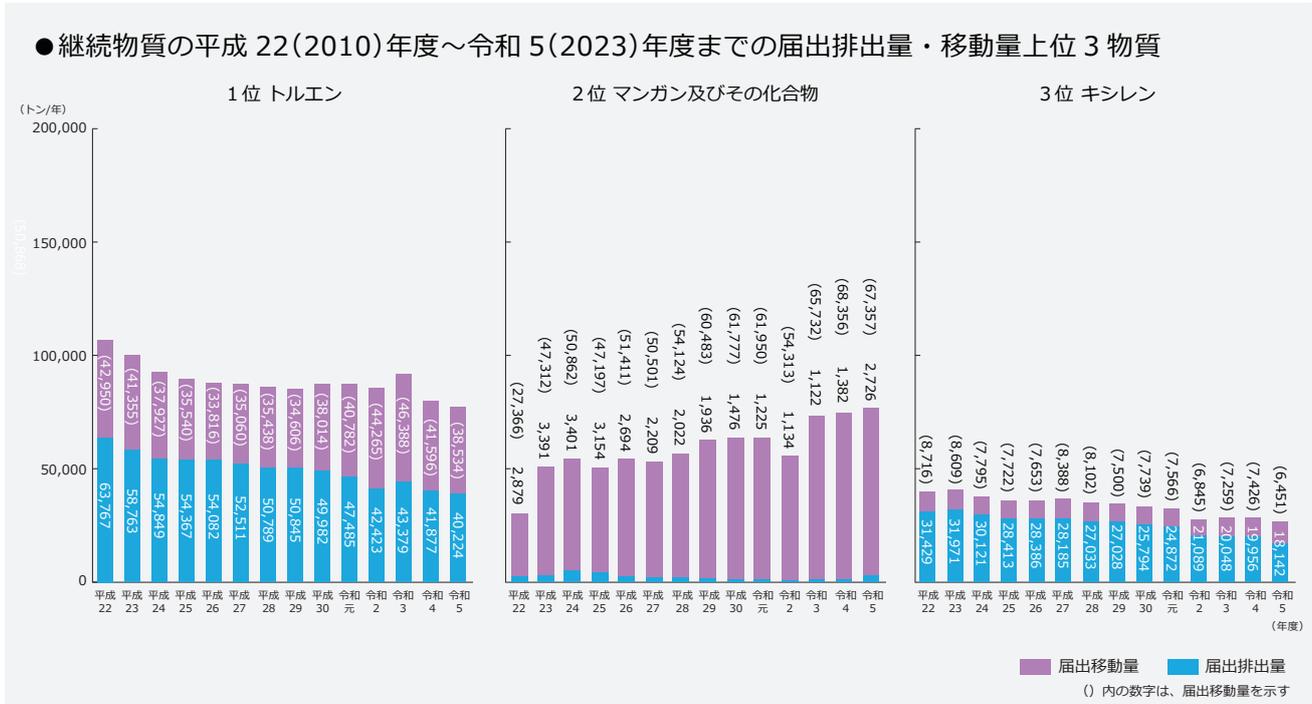
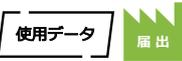
令和5(2023)年度に事業者から届出のあった届出排出量・移動量の合計は、約40万3千トンでした。そのうち、継続物質の届出排出量・移動量は34万1千トンで、前年度と比較して3.5%減少しています。この継続物質は、2008年政令改正時に届出対象物質として指定された物質、かつ2021年政令改正後も継続して届出対象物質として指定された物質です。

特徴的な傾向を見てみると、令和5(2023)年度に事業者から届出のあった継続物質の届出排出量は、平成22(2010)年度と比較して約66%に減少しています。その理由の一つとして、PRTR制度により事業者、市民、行政の協力のもと、自主的な取組が行われたことが考えられます。

このように、PRTR制度は、化学物質による環境リスクを削減することに効果を上げていることがわかります。

[集計・加工例]

継続物質の中で、令和5(2023)年度の届出排出量と届出移動量を足した合計が多かった上位3物質を過去13年分のデータとあわせて棒グラフで示してみました。



上位3物質の構成と順位は、令和4(2022)年度と同じです。排出量が多かったトルエンやキシレンは、製造業全般で主に油性塗料や接着剤などの溶剤として使われています。これらの2物質は、揮発性が高い液体という点が共通しています。マンガン及びその化合物は、主に鉄鋼業や非鉄金属製造業、化学工業などから排出されており、そのほとんどが廃棄物として事業所から移動されたり、埋立処分されたりしています。

(3) 継続物質の排出量・移動量

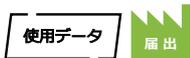
①大気・水・土壌に多く排出されている物質

[データの項目]

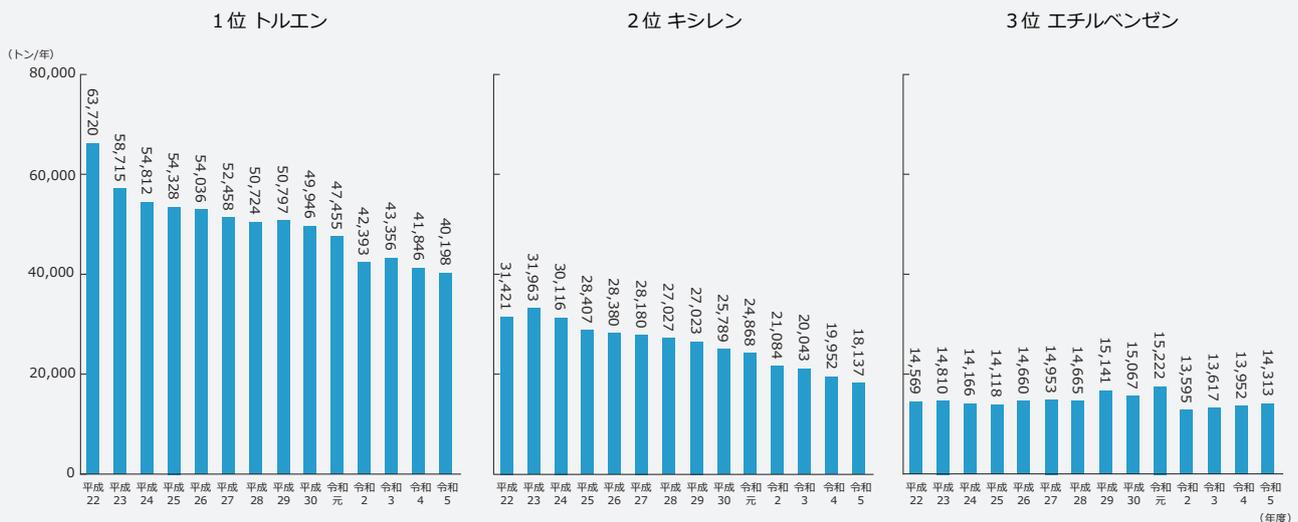
継続物質について、平成22(2010)～令和5(2023)年度の排出先別(大気、公共用水域、事業所敷地内の土壌、事業所敷地内の埋立処分)の届出排出量を見てみましょう。

[集計・加工例]

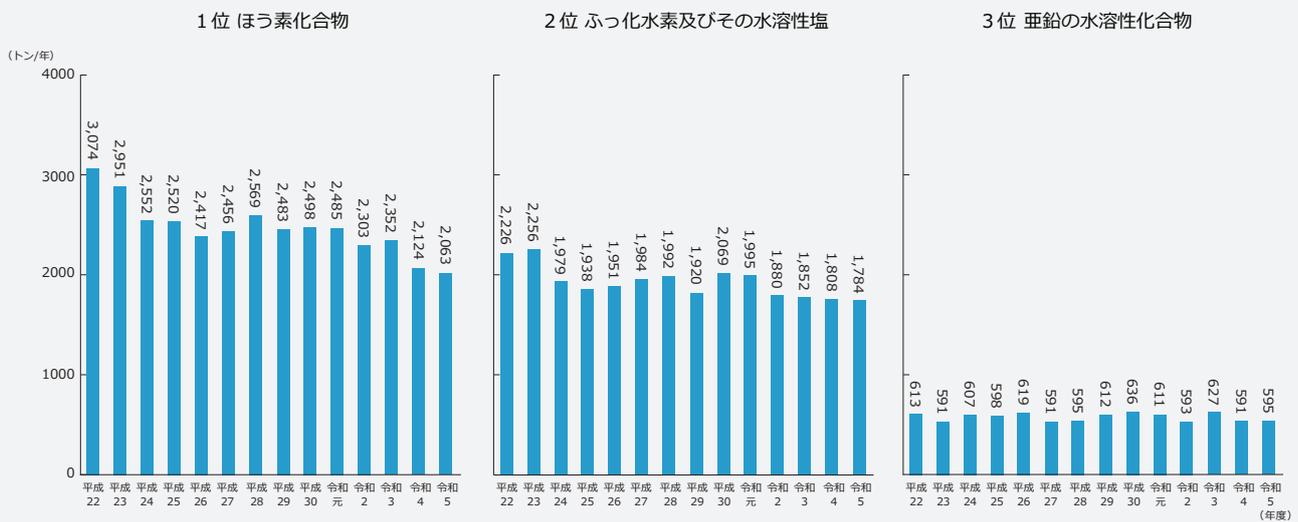
令和5(2023)年度の排出先別に排出量の多い上位3物質を過去13年分のデータとあわせて棒グラフで示してみました。



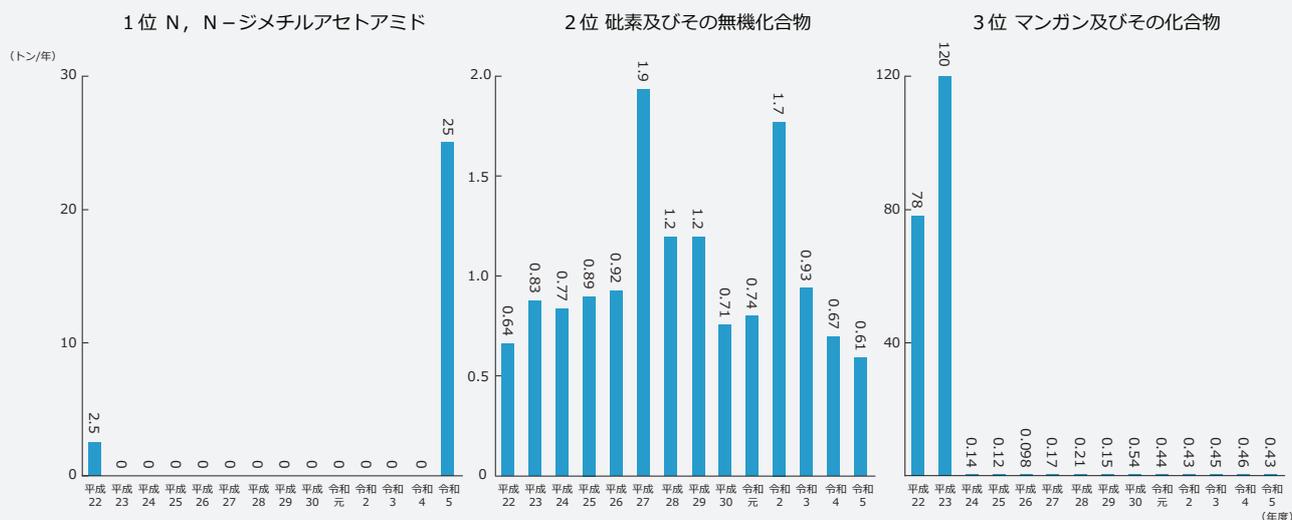
●継続物質の大気への届出排出量の上位3物質



●継続物質の公共水域への届出排出量の上位3物質

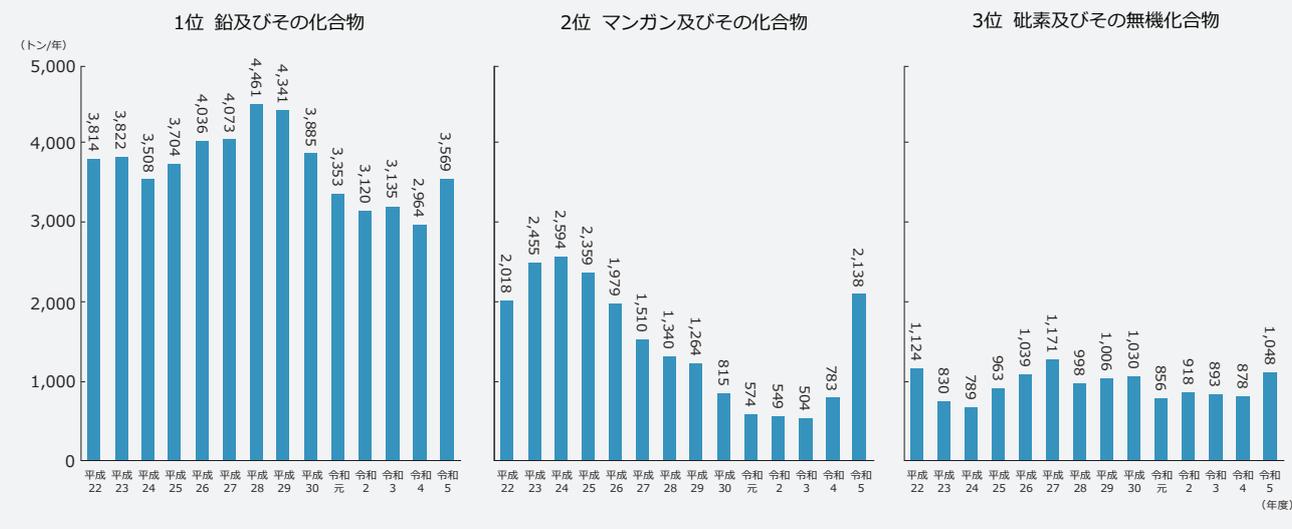


● 継続物質の事業所内の土壌への届出排出量の上位3物質



排出先が土壌の場合、縦軸の間隔が物質毎に異なっていますので注意しましょう。

● 継続物質の事業所内の埋立処分の届出排出量の上位3物質



② 移動量

[データの項目]

平成22(2010)～令和5(2023)年度の廃棄物に含まれて移動される物質と下水道へ移動される物質にはどのようなものがあるのか見てみましょう。

[集計・加工例]

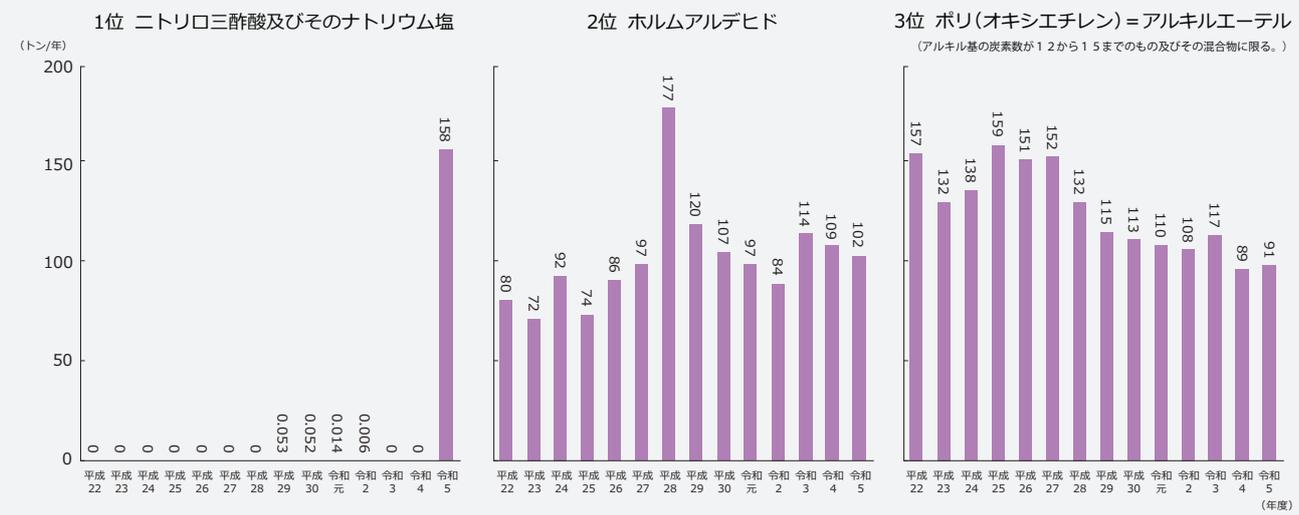
継続物質について、令和5(2023)年度の廃棄物としての移動量と下水道への移動量のそれぞれ上位3物質を過去13年分のデータとあわせて次ページの棒グラフに示してみました。

● 継続物質の事業所外への廃棄物としての届出移動量の上位3物質



廃棄物としての届出移動量上位3物質の構成は、令和4(2022)年度と同じです。1位のマンガンは、合金の原料や鉄鋼製品を製造するときの添加剤などとして使用されています。また、マンガンの化合物としては、乾電池や酸化剤に使われる二酸化マンガンを水処理などに使われる過マンガン酸カリウムなどがあります。3番目のクロム及び三価クロム化合物は、合金の成分として特殊鋼や非鉄金属などに使用されています。

● 継続物質の下水道への届出移動量の上位3物質



下水道への届出移動量上位3物質の構成は、令和4(2022)年度に1位と2位であった物質が令和5(2023)年度には2位と3位に下がるのと同時に、ニトリロ三酢酸及びそのナトリウム塩が1位になりました。2021年政令改正による追加統合物質であり、ナトリウム塩が追加されたことにより移動量が増加したものと考えられます。ニトリロ三酢酸及びそのナトリウム塩は工業用洗剤・洗浄剤のビルダー(洗浄力を増す働きをもつ添加物)、硬水軟化剤、キレート剤などに、ホルムアルデヒドは合成樹脂原料やパラホルムアルデヒド、繊維処理剤などに、ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る)は界面活性剤などに使われています。

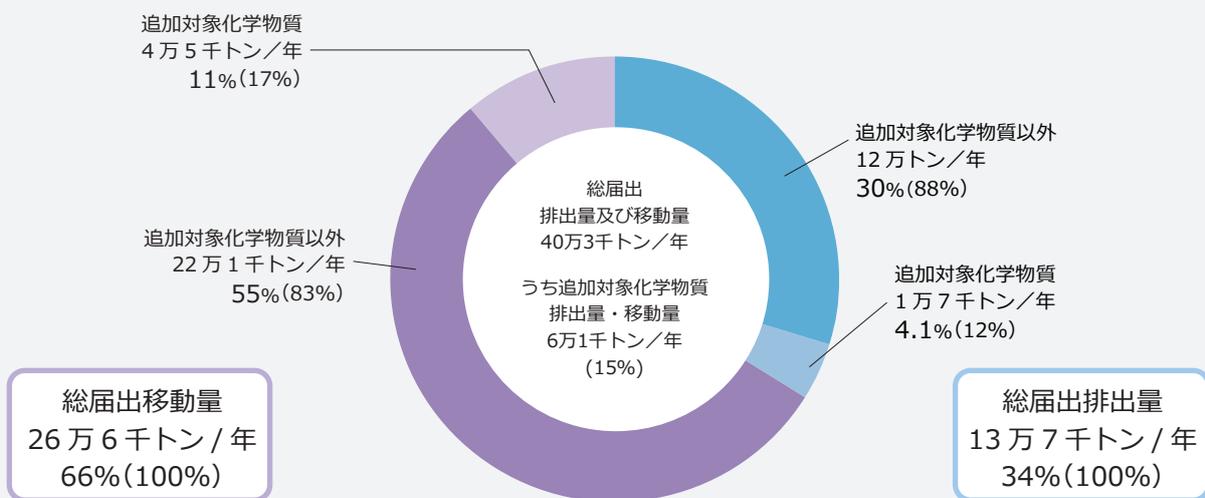
(4) 追加対象化学物質の届出排出量・移動量

2021年10月に行われた政令改正により、令和5(2023)年度以降に排出量等を把握すべき第一種指定化学物質として新たに追加された196物質のうち令和5(2023)年度に届出があった186物質に係る集計結果を示します。

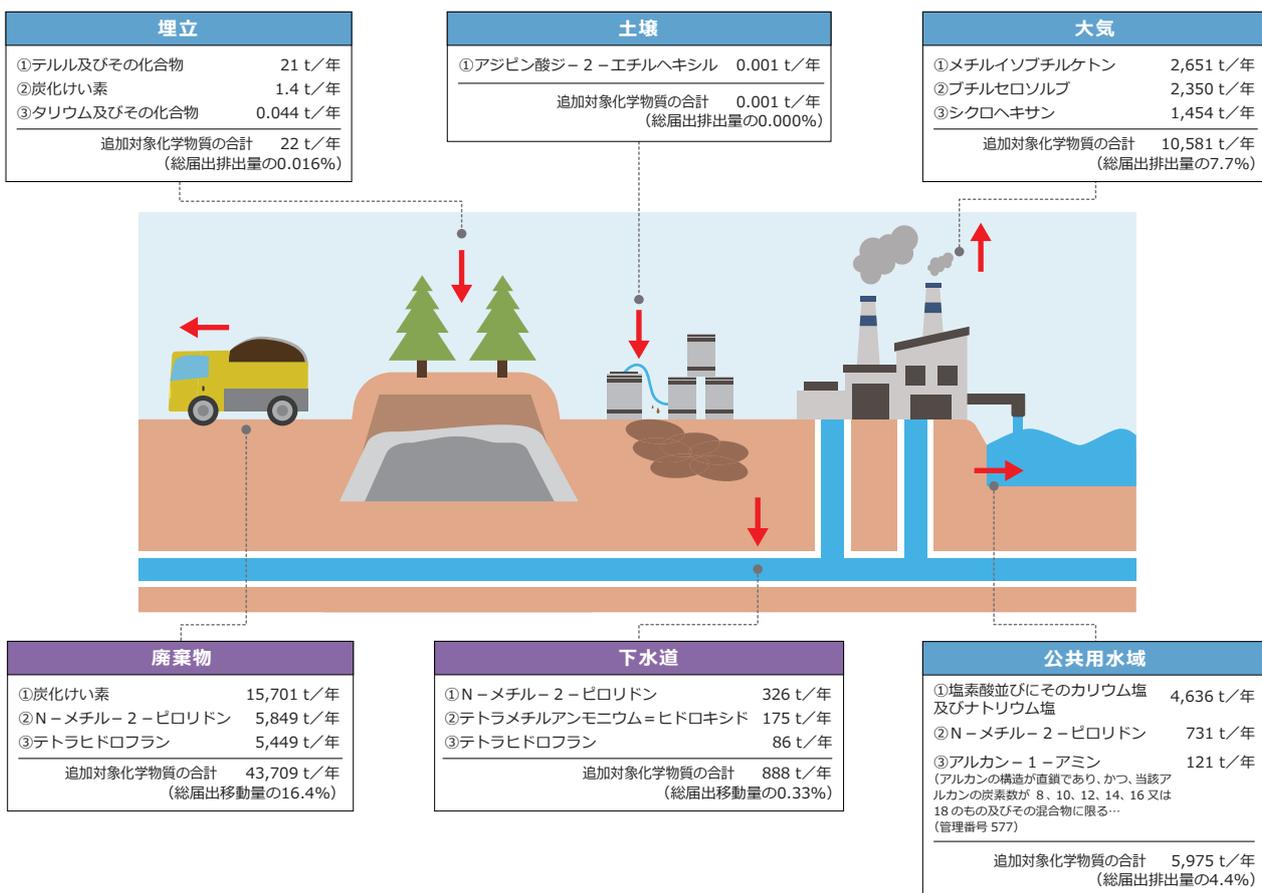
全国の事業者から届出のあった追加対象化学物質の排出量・移動量は6万1千トン(総届出排出量・移動量比率15%)で、その内訳は排出量1万7千トン(総届出排出量比率12%)、移動量4万5千トン(総届出移動量比率17%)でした。

使用データ 届出

● 追加対象化学物質の届出排出量・移動量の構成



● 追加対象化学物質の種類と届出排出量・移動量



4 ホームページ上で PRTR データを見る

環境省のホームページからPRTRデータやその集計結果を入手することができます。

環境省「PRTR集計・公表システム」

環境省のPRTR集計・公表システムでは、集計結果の閲覧や検索、集計データのファイルをダウンロードすることができます。この「PRTR集計・公表システム(PRTRインフォメーション広場内)」を利用するには、2通りの方法があります。

[1] 検索エンジン(Yahoo!、Googleなど)から検索する

検索欄に「PRTR」と入力し、検索結果一覧の中から **PRTRインフォメーション広場** をクリックしてください。

PRTRインフォメーション広場トップページ

HP <https://www.env.go.jp/chemi/prtr/risk0.html>



集計結果・データを見る

HP <https://www.env.go.jp/chemi/prtr/result/index.html>



[2] 環境省のホームページから探す

環境省のトップページから次に示す手順に沿って進んでください。

HP <https://www.env.go.jp>

1 「政策分野一覧」の「保健・化学物質対策」をクリックします。



2

「化学物質対策」の中の「環境リスクの低減」をクリックします。



3

「PRTR:化管法ホームページ(PRTRインフォメーション広場)」の「集計結果・データを見る」をクリックします。



4

「集計結果・データを見る」のページが表示されます。「グラフでデータを見る」をクリックします。



「グラフでデータを見る」のページが表示されます。ここで「集計・公表システム」を利用できます。

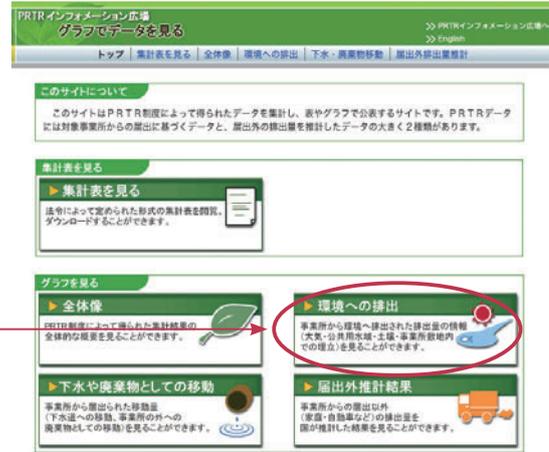


III
PRTR
データ

では、関心のある物質や業種について、都道府県比較のグラフ・地図を見てみましょう。

1

目次画面「全体像」「環境への排出」「下水や廃棄物としての移動」「届出外推計結果」から、見たいグラフを選びます。ここでは例として、「環境への排出」を選択します。



2

「主な図表」の画面になります。 や  等のアイコンをクリックすると、さまざまなグラフが表示されます。



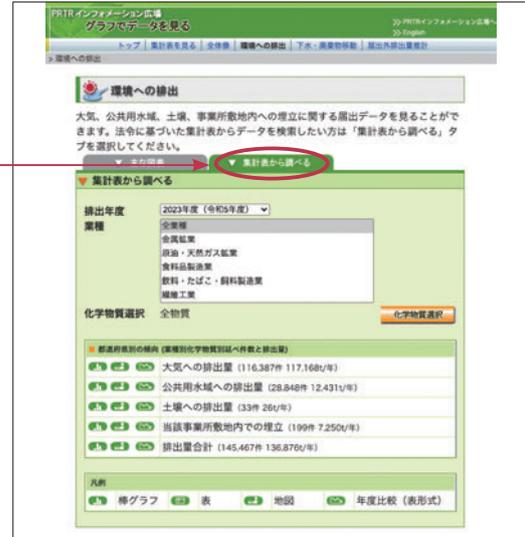
(出力例)

排出量上位 10 物質とその排出量



3

「集計表から調べる」をクリックすると、法令に基づいた集計表からデータを検索することができます。



4

1. 排出年度
2. 業種
3. 化学物質
について、それぞれ希望するものが選べます。



5

最後に、
○大気への排出量
○公共用水域への排出量
○土壌への排出量
○当該事業所敷地内での埋立
○排出量合計
の5項目から見たい項目を選択し、
📊 📄 🗺️ 🔄 をクリックしまし
ょう。

III

PRTRデータ

以下のように、さまざまなグラフや地図を表示させることができます。



グラフでは、排出量の大きさが実数で示されているため、排出量の大小関係がわかります。



年度比較表では、排出量の増減がわかります。

環境省「PRTRデータ地図上表示システム」

「PRTRデータ地図上表示システム」で個別事業所を地図から探したり、個別事業所のデータをグラフや図で見たりできます。

この「PRTRデータ地図上表示システム」を利用するには、

[PRTRインフォメーション広場](#) > [PRTRデータ地図上表示システム](#) をクリックして次に示す手順で進んでください。

HP <https://www.prtr.env.go.jp/prtrmap/>

1

目次画面

「地域から選ぶ」「事業所を検索する」から、検索したい方法を選びます。

- ・「地域から選ぶ」を選択した場合を、[2-1](#) ～ [2-4](#) に示します。
- ・「事業所を検索する」を選択した場合を、[3-1](#) ～ [3-2](#) に示します。



52ページへ

2-1

[1](#) の画面で「地域から選ぶ」を選択すると、検索条件と日本地図が表示されます。

1. 化学物質
2. 排出年度
3. 地方
4. 都道府県
5. 市区町村
6. 郵便番号

について、それぞれ希望するものを選び、「検索」をクリックします。また、地図上で県名をクリックして選ぶこともできます。ここでは例として、東京都を選択して検索します。



2-2

「都道府県ごとの地図画面」になります。地図上で見たい事業所の●をクリックすると、地図が拡大されます。もう1度●をクリックすると、その事業所の排出先別の排出量・移動量を示す図が表示されます(5の画面)。



2-3

2-2の地図を拡大・縮小して、見たい事業所を探すことができます。



2-4

地図上でドラッグ操作を行うことで、地図を移動させて見たい事業所を探すことができます。



3-1

1の画面で「事業所を検索する」を選択すると、検索条件が表示されます。

1. 排出年度
 2. 都道府県
 3. 市区町村
 4. 郵便番号
 5. 事業所名
 6. 物質
 7. 排出・移動先
 8. 排出条件
 9. 業種
 10. 埋立処分を行う場所
 11. 排出先の河川、湖沼、海域等の名称
 12. 移動先の下水道終末処理施設の名称
 13. 廃棄物の処理方法
 14. 廃棄物の種類
- について、それぞれ希望するものを選び、「検索」をクリックします。

3-2

「事業所名」「所在地」「業種」「全排出・移動量」の一覧が表示されます。見たい事業所の「所在地」を選択すると事業所周辺の地図が表示されます(4の画面)。「事業所名」をクリックすると、その事業所の排出先別の排出・移動量を示す図が表示されます(5の画面)。

No.	事業所名	所在地	業種	全排出・移動量
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				

4

事業所周辺の地図です。事業所の●をクリックすると、排出先別に排出・移動量を示す図が表示されます。



「絵で排出・移動量」の画面です。最後に、

- グラフで排出・移動量
- 事業所情報
- 詳細排出・移動量
- 表で経年変化
- グラフで経年変化

の5項目から見たい項目をクリックしましょう。

2023年度 の排出・移動量について
※数値部分にマウスを合わせると、図の下に物質別の排出・移動量が表示されます。

①大気 1,702.3kg
②公共用水域 (直接) 0kg
③土壌 0kg
④事業所内での埋立処分
⑤下水道 0kg
⑥廃棄 13,509kg

排出・移動量の詳細(物質別, ①~⑥の数値部分にマウスを合わせると、表示されます。番号は管理番号)

以下のように、さまざまなグラフや地図を表示させることができます。

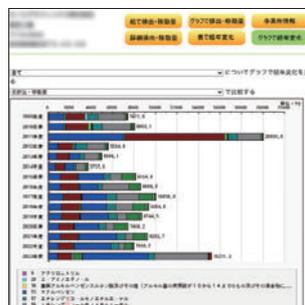


「グラフで排出・移動量」では、物質別・排出先別に、排出・移動量の大小関係がわかります。

「事業所情報」では、事業者名、事業所名、事業所の所在地や従業員数など、事業所に関連する情報がわかります。

「詳細排出・移動量」では、物質別・排出先別に、排出・移動量を数値で見ることができます。

「表で経年変化」では、物質別・排出先別に、排出・移動量の経年変化がわかります。



「グラフで経年変化」では、物質別に、排出・移動量の経年変化がわかります。

5 個別事業所のPRTRデータを入力する

化学物質の環境中への排出状況に関する理解をより深めるため、個別事業所のPRTRデータを環境省のホームページ上で容易に入手することができます。

また、これまでのように所定の手続きを経て、当該データについて国へ開示請求を行うことも可能です(56ページをご参照ください)。

(1) 個別事業所のデータと「PRTRけんさくくん」の利用について

個別事業所のPRTRデータは、環境省のホームページ上にある「PRTRインフォメーション広場>個別事業所のデータ」よりダウンロードできます。

HP

<https://www.env.go.jp/chemi/prtr/kaiji/index.html>

ここで得られるデータは、年度ごとに「本紙ファイル(本紙.txt)」「別紙ファイル(別紙.txt)」「他業種ファイル(他業種.txt)」の3種類に分かれています。データを利用する際はこれらのファイルを一つに統合する作業が必要ですが、ソフトウェア「PRTRけんさくくん」を利用すると、この作業を行うことができ、PRTRデータの再集計や分析が容易にできます。

「PRTRけんさくくん」は、個別事業所のPRTRデータと同じ画面上から入手できます。

PRTRインフォメーション広場

個別事業所のデータ

個別事業所のデータ

「PRTRけんさくくん」のダウンロード

個別事業所のPRTRデータの取込み・検索・集計・比較・印刷及びファイル出力を行うために必要なソフトウェアである「PRTRデータ分析システム(以下「PRTRけんさくくん」)」を、以下からダウンロードしてください。

注意

- 「PRTRけんさくくん」は毎年バージョンアップしておりますので、最新の「PRTRけんさくくん」をダウンロードのうえご利用ください。
- ご利用されるにあたり、「PRTRけんさくくん」を起動前にPCディスプレイの倍率を100%に設定してください。(設定→ディスプレイ→拡大縮小倍率100%)

PRTRけんさくくん(令和6年度版(令和5年度データ用))

機能	説明
1. ファイルの取込	PRTRデータ(電子ファイル)を取込む機能です。

ディスプレイ 解像度1024×768ピクセル以上推奨
ディスプレイ拡大縮小倍率100%設定のこと

手順2. 各年度のPRTRデータのダウンロード

ご利用を希望される年度のPRTRデータを以下からダウンロードしてください。

- 平成13年度データ(平成24年3月修正)
- 平成14年度データ(平成24年3月修正)
- 平成15年度データ(平成24年3月修正)
- 平成16年度データ(平成24年3月修正)
- 平成17年度データ(平成24年3月修正)
- 平成18年度データ(平成25年3月修正)
- 平成19年度データ(平成26年3月修正)
- 平成20年度データ(平成27年3月修正)
- 平成21年度データ(平成28年3月修正)
- 平成22年度データ(平成29年3月修正)
- 平成23年度データ(平成30年3月修正)
- 平成24年度データ(平成31年3月修正)
- 平成25年度データ(令和2年3月修正)
- 平成26年度データ(令和3年3月修正)
- 平成27年度データ(令和4年3月修正)
- 平成28年度データ(令和5年3月修正)
- 平成29年度データ(令和6年2月修正)
- 平成30年度データ(令和7年2月修正)
- 令和元年度データ(令和7年2月修正)
- 令和2年度データ(令和7年2月修正)
- 令和3年度データ(令和7年2月修正)
- 令和4年度データ(令和7年2月修正)
- 令和5年度データ(令和7年2月)

PRTRけんさくくんの機能

機能	説明
1. ファイルの取り込み	PRTRデータ(電子ファイル)を取り込む機能
2. データの検索・抽出	データ一覧画面に表示されるデータについて検索・抽出する機能
3. データの集計	データを全国・都道府県・市区町村ごとに集計し、一覧表示またはグラフ表示する機能
4. データの比較	違う年度のデータを比較する機能
5. データの印刷	データを印刷する機能
6. ファイルの出力	取り込んだファイルをデータベースソフトや表計算ソフトで扱いやすいファイルに変換して出力する機能

個別の事業所からの化学物質の排出・移動量について 「PRTRけんさくくん」で調べてみよう!

「PRTRけんさくくん」を使うと、例えば自分が住んでいる地域の事業所ごとのPRTRデータを簡単に調べることができます。



『PRTRけんさくくんの使い方』ガイド

「PRTRけんさくくん」と「PRTRデータ」をダウンロードし、「PRTRけんさくくん」を使える状態にしてください(詳細な方法については、以下を参照してください)。

<https://www.env.go.jp/chemi/prtr/kaiji/manual.pdf>

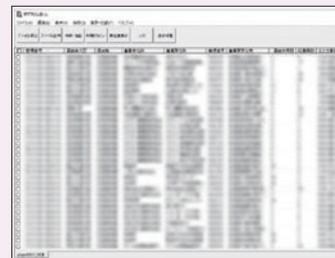


- ダウンロード後、prtrdas.exeをダブルクリックして「PRTRけんさくくん」を立ち上げます(prtrdas.exe[PRTRけんさくくん]は、「PRTRkensakun.zip」を解凍したフォルダの中にあります)。
- ホームページよりダウンロードしておいた調べたい年度の「PRTRデータ」を、以下の手順で「PRTRけんさくくん」に取り込みます。
 「ファイル取込」→「ファイルの取込み」画面→「参照」→「開く」画面→調べたい年度の「本紙.txt」「別紙.txt」「他業種.txt」の3つのファイルを同時に選択→「開く」→「取込み開始」→「ファイル取込み処理を実行中」が表示され、「PRTRけんさくくん」にPRTRデータが取り込まれます。

自分が住んでいる市区町村における個別事業所のPRTRデータ

- 「PRTRけんさくくん」のメイン画面→
- 検索・抽出 →
- 文字列・数値で検索-事業所所在地→
- リストから入力 →
- 都道府県を選択→
- 市区町村を選択→
- OK →
- 新規検索 →
- 調べたい市区町村の個別事業所データが表示されます。

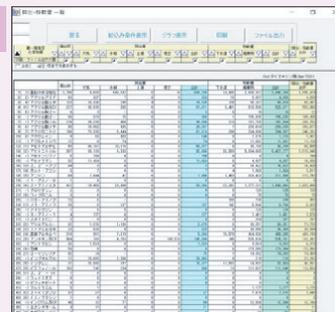
※ ツールバーの「表示」から「物質ごと一覧」を選択すると、個別事業所の物質ごとの排出量・移動量を表示することができます。



さらに調べてみましょう 🔍

自分が住んでいる市区町村における化学物質別の排出・移動量

- 「PRTRけんさくくん」のメイン画面→
- 排出量集計 →
- 集計する範囲-市区町村別に集計にチェック→
- 選択 →
- 都道府県を選択→
- 市区町村を選択→
- OK →
- 集計する項目-第一種指定化学物質別にチェック→
- 選択 →
- 全てチェック →
- OK →
- 集計開始 →
- 自分が住んでいる市区町村における化学物質の排出・移動量の一覧が表示されます。



排出・移動量の順番を並べ替える場合

- 排出・移動量一覧の表示画面→
- 大気への排出量が大きい順に並べる→
- | | | | | | | | | | | | | |
|-----|----|---|---|----|---|---|----|---|---|----|---|----|
| 排出量 | | | | | | | | | | | | |
| △ | 大気 | ▼ | △ | 水域 | ▽ | △ | 土壌 | ▽ | △ | 埋立 | ▽ | 合計 |

→ クリックすると、▼が黒く(▼)なり、排出量が降順に変わります。



(2) 環境省「PRTRデータ地図上表示システム」の利用について

環境省「PRTRデータ地図上表示システム」で個別事業所のPRTRデータやその経年変化を見ることが出来ます。

また、それらのデータを**CSV形式**^{※16}のファイルでダウンロードできます。

「PRTRデータ地図上表示システム」の機能や利用方法は50～53ページをご覧ください。

「詳細排出・移動量」をクリック

「CSVダウンロード」をクリック

The image shows two screenshots of the PRTR data visualization system. The left screenshot shows a graphical overview of emissions and movements for 2023, with a total of 1,702.3kg. It includes categories like ①大気 (Air), ②公共用水域 (Public water bodies), ③土壌 (Soil), ④事業所内の埋立処分 (On-site disposal), ⑤下水道 (Sewerage), and ⑥廃棄 (Waste). The right screenshot shows the same data in a table format, with a 'CSVダウンロード' (Download CSV) button highlighted. The table lists various chemical substances and their quantities across different categories.

管理番号	物質名	全排出				全移動		全排出・移動	単位		
		大気	水域	土壌	埋立	下水	廃棄				
53	エチルベンゼン	110	0	0	0	110	0	780	780	890	kg
80	キシレン	150	0	0	0	150	0	1,100	1,100	1,250	kg
83	アメン	5.5	0	0	0	5.5	0	39	39	44.5	kg
300	トルエン	27	0	0	0	27	0	200	200	227	kg
302	ナフタレン	0	0	0	0	0	0	550	550	550	kg
411	ホルムアルデヒド	1.4	0	0	0	1.4	0	98	98	112	kg
420	メタクリル酸メチル	2.9	0	0	0	2.9	0	21	21	23.9	kg
438	メチルシアナレン	0	0	0	0	0	0	72	72	72	kg
568	アセチルアセトン	3.6	0	0	0	3.6	0	26	26	29.6	kg
594	アセチルセロソルブ	750	0	0	0	750	0	5,400	5,400	6,150	kg
627	ジエチレングリコールモノブチルエーテル	0	0	0	0	0	0	540	540	540	kg
691	トリメチルベンゼン	600	0	0	0	600	0	4,400	4,400	5,000	kg
720	2-tert-ブトキシエタノール	5.3	0	0	0	5.3	0	43	43	48.3	kg
737	メチルイソブチルケトン	34	0	0	0	34	0	240	240	274	kg
	合計	1,702.3	0	0	0	1,702.3	0	13,509	13,509	15,211.3	kg

(3) 開示請求

1) 開示されるデータ

事業者から届けられた個別事業所ごとの情報は、開示請求をすることによっても、個人情報等を除く次の情報を入手することができます。

- ①事業者、事業所に関する情報(名称、所在地等)
- ②事業所における第一種指定化学物質の排出量・移動量に関する情報
 - ▷ 第一種指定化学物質の名称
 - ▷ 大気への排出量、公共用水域への排出量、事業所における土壌への排出量、事業所における埋立処分量及び排出先の名称
 - ▷ 下水道への移動量
 - ▷ 事業所外への移動量

開示されるデータは、電磁的記録媒体(CD-R等)による交付、用紙による交付のうち、いずれかの方法を選択することができます。

電磁的記録媒体により交付される事業所データの電子ファイルは、CSV形式で提供され、データベースソフトや表計算ソフトの多くで読み書きができ、開示請求者が独自に表を作成したり、集計・分析等を行うことが可能です。

※16 CSV形式とは、項目の間をカンマで区切ったテキスト形式のファイルのことです。

また、電子ファイルにはPRTRデータ分析システム「PRTRけんさくん」が納められており、集計・分析等が簡単に行えます。「PRTRけんさくん」の利用については、54ページをご参照ください。

国による集計結果の公表日以降であれば、誰でも個別の事業所が届け出た排出量等のデータについて、国に対して開示請求をすることができます。請求先は、環境省、経済産業省及び事業者の営業活動を管轄する省庁です。

2) 開示請求の窓口

環境省及び経済産業省の窓口では、全国すべての事業者からの届出について開示請求を受け付けるほか、開示にあたっての事前照会（開示を希望する事業所等を特定するための事前の手続き）や開示手続全般の問い合わせにも対応しています。

それ以外の事業所管省庁（財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省、防衛省）では、その省庁が所管している事業者からの届出分について、開示請求を受け付けています。

各省庁に設置されているPRTR開示窓口は、以下のとおりです。

省庁名	問い合わせ部署	住所／電話／電子メール	対象となる業種
財務省	理財局総務課たばこ塩事業室	〒100-8940 東京都千代田区霞が関3-1-1 電話:03-3581-4111(内線2259)	たばこ塩製造業など
文部科学省	研究開発局環境工ネルギー課	〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2 電話:03-5253-4111(内線4143)	高等教育機関など
厚生労働省	医薬局医薬品審査管理課化学物質安全対策室	〒100-8916 東京都千代田区霞が関1-2-2 電話:03-5253-1111(内線2428)	医薬品製造業など
農林水産省	消費・安全局農産安全管理課農薬対策室	〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1 電話:03-3502-8111(内線4500)	農薬製造業など
経済産業省	産業保安・安全グループ 化学物質管理課 化学物質リスク評価室	〒100-8901 東京都千代田区霞が関1-3-1 電話:03-3501-1511(内線3691~3695)	全業種
国土交通省	総合政策局環境政策課	〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3 電話:03-5253-8111(内線24312)	下水道、自動車整備業など
環境省	環境保健部化学物質安全課	〒100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2 電話:03-3581-3351(内線6358) 電子メール:ehs@env.go.jp	全業種
防衛省	地方協力局環境政策課	〒162-8801 東京都新宿区市谷本村町5-1 電話:03-3268-3111(内線36554)	駐屯地など



3) 請求の方法

開示請求には、開示請求者の氏名及び住所、開示請求しようとする事業所の名称及び所在地、その他の開示を希望する事業所を特定できる事項が必要です。また、特定の事業所に限定せず、ある年度に届出のあったすべての事業所のデータを請求することもできます。

開示請求する場合は、必要な事項を「ファイル記録事項開示請求書」(59ページ参照;
<https://www.env.go.jp/chemi/prtr/kaiji/kaiji2.html>)に記入し、

①開示窓口へ直接提出する、②郵送により提出する、③インターネットを利用し提出するという、3つの方法のうちいずれかを選択します。

提出方法(国民)	開示方法(環境省)
①開示窓口へ直接提出する	CD-R等の電磁的記録媒体をお渡しします。
②郵送により提出する	CD-R等の電磁的記録媒体を郵送しますので、切手を貼付した返信用封筒(A4以下でCD-Rが入る大きさのもの)が必要となります。切手代は、CD-R1枚の場合、180円〔定形外郵便(規格内)〕です。
③インターネットを利用し提出する(電子政府の総合窓口(e-Gov)の「電子申請」から行う)	

4) 開示請求の手数料

開示請求には、所定の手数料が必要です。手数料は、開示を受ける媒体及びデータの量(容量)によって決まります。手数料は、開示請求書に収入印紙を貼付して納付します。なお、インターネットにより開示請求する場合には、電子納付します。

内 容	開示媒体	手数料算出方法
事業所を 検索して開示	用紙(A4)	紙1枚につき20円
	電磁的記録媒体	電磁的記録媒体1枚につき200円+0.5MBまでごとに260円
年度の全データを 開示	電磁的記録媒体	電磁的記録媒体1枚につき200円+200MBまでごとに900円

なお、最新年度の全国・全事業所のデータを1枚のCD-Rに収録したものは1,100円、過年度修正版と最新年度の各々の全国・全事業所データを併せて1枚のCD-Rに収録したものは2,000円となります。

開示請求に関する詳しい情報は、環境省のホームページ「PRTRインフォメーション広場」の「PRTRデータの開示請求をされる方へ」をご参照ください。

HP <https://www.env.go.jp/chemi/prtr/kaiji/kaiji2.html>

5) ファイル記録事項開示請求書

ファイル記録事項開示請求書

環境大臣 殿

令和 7 年 4 月 1 日

請求者

住所	〒 100 - 8975 東京都千代田区霞が関1-2-2
氏名	榎境太郎
※法人その他の団体にあつては、その所在地・名称及び代表者の氏名を記載。 問い合わせ先（電話番号）※郵送で開示を請求する場合のみ記載。 (郵送先は、上記住所あてとなります。)	
03 - 3581 - 3351 (内線 6358)	(内線 6358)
(担当者の氏名 榎ヶ関花子)	
※法人その他の団体にあつては、担当者の氏名も記載。	

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律第10条第1項に基づき、次のとおりファイル記録事項の開示を請求します。

開示を請求するファイル記録事項の対象年度(排出年度)	平成(令和) 5 年度に第一種指定化学物質等取扱事業者が把握した情報				
開示を請求する情報	<input checked="" type="checkbox"/> 以下のいずれかの口にレ点を付けてください。 <input checked="" type="checkbox"/> すべてのファイル記録事項 <input type="checkbox"/> ファイル記録事項の一部(二画面にも御記入ください。) ※以下のいずれかの口にレ点を付けてください。上記で「すべてのファイル記録事項」を選択された場合、この欄への記載は不要です。(電磁的記録媒体での開示となります。) <input type="checkbox"/> 用紙(A4)への出力 <input checked="" type="checkbox"/> 電磁的記録媒体(CD-R等)				
希望する開示実施方法	※以下の欄には記入しないでください。 (収入印紙貼付欄) <table border="1"> <tr> <td>用紙・電磁的記録媒体 枚/MB</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(料金)</td> <td></td> </tr> </table>	用紙・電磁的記録媒体 枚/MB	円	(料金)	
用紙・電磁的記録媒体 枚/MB	円				
(料金)					

(裏面)

※開示を請求する情報で「ファイル記録事項の一部」を選択した場合は、必ず以下を御記入ください。

※以下のいずれかの口にレ点を付し、必要事項を記入してください。
欄が足りない場合は、備考欄を活用してください。

特定の事業所の情報 ※事業所の名称及び所在地を記入してください。

一定の条件を満たす事業所の情報 ※以下、①～④の空欄に検索条件を記載してください。
(複数選択可)

※以下①～④のすべての条件を満たす事業所について、開示を求めます。

①都道府県・市区町村名	東京都千代田区	に所在する事業所であること
②業種名 又は 業種コード	化学工業(業種コード2000)	に属する事業を含む事業所であること
③化学物質名称 及び 管理番号	名称：四塩化炭素 番号：149	
④その他		の届出をした事業所であること

備考

<記入に当たっての注意事項>

1. 開示を求める事業所が特定されている場合には、「特定の事業所の情報」に、検索項目(①～④)により事業所を絞り込んで特定する場合は「一定の条件を満たす事業所の情報」に、該当するいずれか一方を選択して、記載してください。
 2. 特定の事業所の情報(事業所の名称及び所在地)の欄には、事業者が特定できるよう、事業所の正式な名称並びに所在する都道府県及び市区町村名を記載してください。
 3. 一定の条件を満たす事業所の情報(①～④)には、それぞれ複数の事項を記載することができます。
 4. 一定の条件を満たす事業所の情報(④その他)の欄には、①～③以外の条件を記載することができます。(可能な限り具体的に記載してください。)
- ただし、ファイル記録事項にある項目以外での検索することはできません。

